brother

MFC 4350J

この取扱説明書（操作編）をお読みになる前に、別冊の取扱説明書（セットアップ編）をお読みになり、すべてのセットアップを完了してください。その後、本書をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。

本書をなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

0120-143410

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記フリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前10:00～11:45
午後1:00～5:00
営業日　月曜日～金曜日

（土日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

取扱説明書

操作編

MFC 4350J かんたん操作ガイド

詳しい操作方法については、取扱説明書をよくお読みください。

設定

回線種別設定をする

取扱説明書<セットアップ編>に従って、ご使用の前の組み立てと接続をしたら、次に取扱説明書<セットアップ編>の32ページの手順で回線種別の設定をします。回線の種類は取扱説明書<セットアップ編>の34ページの方法で調べることができます。もし、回線の種類がわからないときは最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口(☎116=無料)にお問い合わせください。

ファクス

ファクスを送信する

<手動送信>

1 原稿をセットします(一度に20枚までセットできます)。原稿の先端を揃え、裏向きにセットします。

2 受話器を取るか、[オンフック]ボタンを押します。

3 相手先の電話番号をダイヤルします。(ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、ダイヤルボタンを使ってダイヤルします)

4 相手が出たら、ファクスを送ることを伝えて相手側のファクシミリの[スタート]ボタンを押してもらいます。

5 「ピー」という音が聞こえたら、[スタート]ボタンを押します。

6 受話器を上げているときは、受話器を戻します。

<自動送信>

1 原稿をセットします。

2 相手先の電話番号をダイヤルします。

3 [スタート]ボタンを押します。

<順次同報送信>

1 原稿をセットします。

2 ダイヤルボタン、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤルを使って、送信先を送りたいだけ順に入力し、各送信先の間に[機能案内/同報送信]ボタンを押します。

3 [スタート]ボタンを押します。

<送付書を付けての送信>

1 原稿をセットします。

2 [機能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[3]、[1]を押します。

3 [←]／[→] ボタンで「ソウフショ：ON」あるいは「コンカイノミ」を選び、[セット]ボタンを押します。

4 [←]／[→] ボタンでコメントを選び、[セット]ボタンを押します。

5 送信枚数を入力します。

6 2秒間待つか、[セット]ボタンを入力します。

7 相手先の電話番号をダイヤルします。

8 [スタート]ボタンを押します。

ファクスを受信する

<受信モードを選択する>

使用用途に応じて、4つの受信モード(FAX専用、通常、外付留守電、電話)を[受信モード]ボタンを押して切り換えます。通常モードを選択した場合は、着信ベル回数と呼出ベル回数の設定を行います。

<ファクスを受信する－着信ベルが鳴っている間に受話器を取ったとき>

1 呼出ベルが鳴ったら、受話器を取ります。

2 「ポーポー」という音が聞こえるか、相手がファクスを送るのでファクスに切り換えてほしいと言ったら、[スタート]ボタンを押します。

3 受信が開始されたら、受話器を戻します。

MFC 4350J かんたん操作ガイド

登録

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの登録をする

<ワンタッチダイヤルの登録>

1. 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 6、1 を押します。
2. 登録するワンタッチボタンを押します。
3. ダイヤルボタンで電話番号を入力します。
4. セット ボタンを押します。
5. 相手先の名前を入力します。
6. セット ボタンを押します。
7. ← ／ → ボタンを押して、番号の種別を選びます。
8. セット ボタンを押します。
9. 停止 ボタンを押します。

<短縮ダイヤルの登録>

1. 機能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 6、2 を押します。
2. 登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力します。
3. ダイヤルボタンで電話番号を入力します。
4. セット ボタンを押します。
5. 相手先の名前を入力します。
6. セット ボタンを押します。
7. ← ／ → ボタンを押して、番号の種別を選びます。
8. セット ボタンを押します。
9. 停止 ボタンを押します。

コピー

コピーをする

<一部だけのコピー>

1. 原稿をセットします。
2. コピー ボタンを押します。
3. コピー ボタンを押します。

<ソートコピー>

1. 原稿をセットします。
2. ソート ボタンを押します。
3. コピー部数を入力します。
4. コピー ボタンを押します。

<スタックコピー>

1. 原稿をセットします。
2. コピー ボタンを押します。
3. コピー部数を入力します。
4. コピー ボタンを押します。

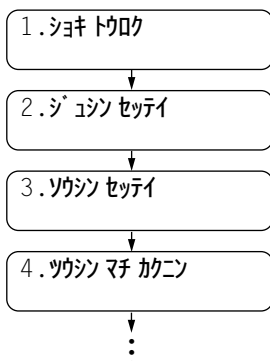
<拡大/縮小コピー>

1. 原稿をセットします。
2. 拡大/縮小 ボタンを押します。
3. ← ／ → ボタンを押して、コピーの倍率を選びます。
4. コピー ボタンを押します。
5. コピー部数を入力します。
6. コピー ボタンを押します。

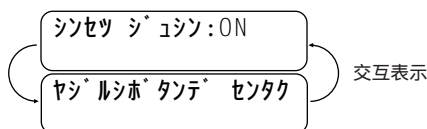
ディスプレイの特徴

ＭＦＣ ４３５０Ｊはお客様が使いやすいよう、ディスプレイを見るだけで次に何をすれば良いかがわかるようになっています。

＜ディスプレイのスクロール＞

機能ボタンを押すと、次々に設定することができる各機能がディスプレイに表われてきます。(取扱説明書〈セットアップ編〉２２～３１ページ参照)

設定したい機能がディスプレイに表示されたときに、セットボタンを押すか、ダイヤルボタンでその機能の番号を選んで入力してください。(自動的にスクロールしているときに、いつでも番号の入力ができます)

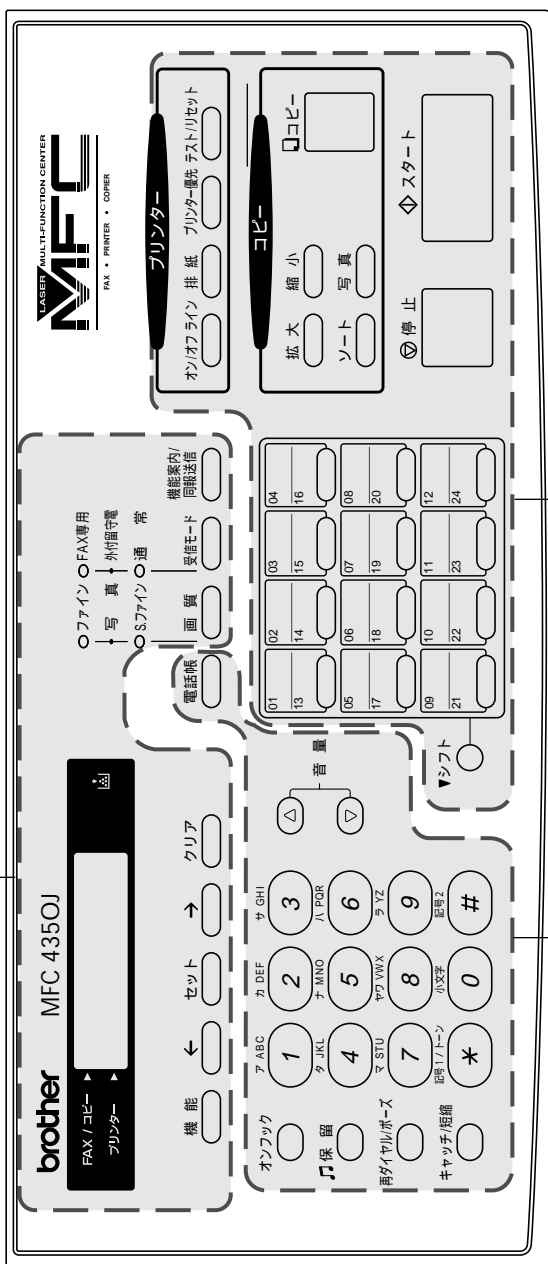
＜ディスプレイの交互表示について＞

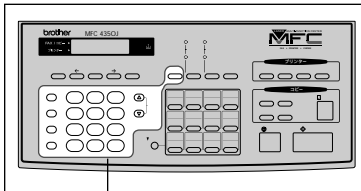
ディスプレイ表示が交互に切り換わっているときは、現在設定されている機能と次の手順へ進む方法についての短いメッセージを約2秒間隔で交互に表示しています。下の例では、現在親切受信設定が「ON」に設定されていることと、設定を変更するためには←／→ボタンを押すというメッセージが表示されています。次の手順がディスプレイに表示されていますので、それに沿って簡単に設定・登録をすることができます。

※本書では上のような表記で交互表示を表しています。

次

1章

操作パネルについて

各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらき

A 電話部

ダイヤルボタン

ダイヤルするとき(40ページ参照)、発信元データなどの文字入力をするときに押します。(取扱説明書〈セットアップ編〉16〜18ページ参照)

オンフックボタン

受話器を置いたままでダイヤルするときに押します。(38ページ参照)

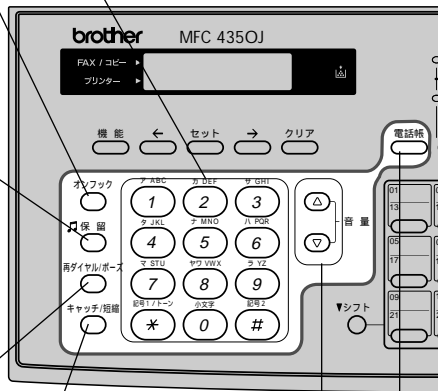
保留ボタン

通話中に押すと、電話回線を保留にして相手にメロディを流します。

再ダイヤル/ポーズボタン

最後にダイヤルした番号を再びダイヤルするとき(65ページ参照)、ダイヤル番号の入力時にハイフンを入れるときに押します。(取扱説明書<セットアップ編>48ページ参照)

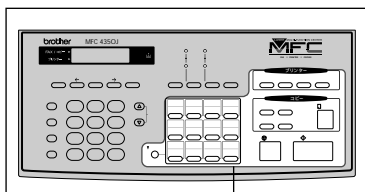
キャッチ/短縮ボタン

あらかじめ登録した短縮ダイヤルをダイヤルするときに押します。(40ページ参照)
また、キャッチホンご契約の場合、通話中にキャッチホンを受けるときに押します。(13ページ参照)

音量調整ボタン

ベル音量、スピーカー音量、受話音量を変更するときに押します。(取扱説明書<セットアップ編>43ページ参照)

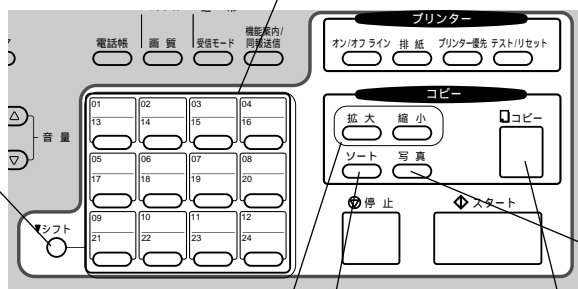
電話帳ボタン

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている電話番号を検索するときに押します。(41ページ参照)

B ワンタッチ、プリンター、コピー部

シフトボタン

ワンタッチダイヤルの 13 〜 24 を登録またはダイヤルするときに シフト ボタンを押しながらワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタン

あらかじめ登録したワンタッチダイヤルまたはグループダイヤルを使用するときに押します。(取扱説明書<セットアップ編>48〜53ページ参照)・(40ページ参照)

拡大/縮小ボタン

拡大/縮小コピーをするときに押します。倍率は200%、150%、125%、120%、100%、93%、87%、75%、50%から選択することができます(80ページ参照)。また、記録紙のサイズに合わせて自動で縮小したいときはジドウを選びます。

コピーボタン

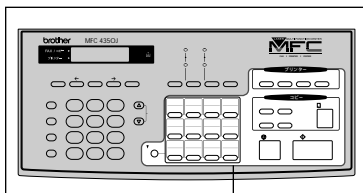
原稿をコピーするときに押します。(76ページ参照)

ソートボタン

複数の原稿をページ順に複数部コピーしたいときに押します。すべての原稿を読み込んでからページ順にコピーします。(79ページ参照)

写真ボタン

写真原稿をコピーするときに押します。(82ページ参照)

B ワンタッチ、プリンター、コピー部

プリンター優先ボタン

このボタンを押すと、MFCはファクス受信よりプリンターとしての出力を優先します。受信したファクスはすべてメモリに記憶され、プリンターとして出力がされていないときにそのファクスをプリントします 。(119ページ参照)

テスト/リセットボタン

プリンターのテストプリントをするときに押します。プリンターのメモリの中のデータをすべて削除したいときは、シフトボタンと同時に押します。(119ページ参照)

排紙ボタン

排出されていないデータが残っているときに、この排紙ボタンを押すと、そのデータがプリントされます。また、PCデータ受信に関するエラーが解除された後もエラーメッセージがディスプレイに表示されたまま残っているときに、この排紙ボタンを押すと、エラーメッセージが消えます。(118ページ参照)

停止ボタン

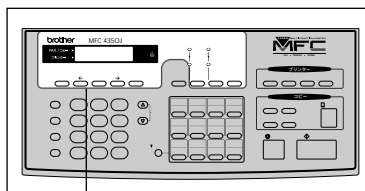
ファクス送信または操作を中止するとき、機能モードを解除するときに押します。（取扱説明書〈セットアップ編〉19ページ参照)・(39ページ参照)

オン/オフラインボタン

オンライン(パソコンからのデータを受け取る準備ができた状態)、オフラインに切り換えるときに押します。オンラインのときはディスプレイに「オンライン」と表示します。(118ページ参照)

スタートボタン

ファクス送信または受信するときに押します。(17、38、39ページ参照)

C ディスプレイ機能設定部

← (左矢印)ボタン

各種登録・設定で選択するとき、ディスプレイのカーソルを左に動かすときに押します。

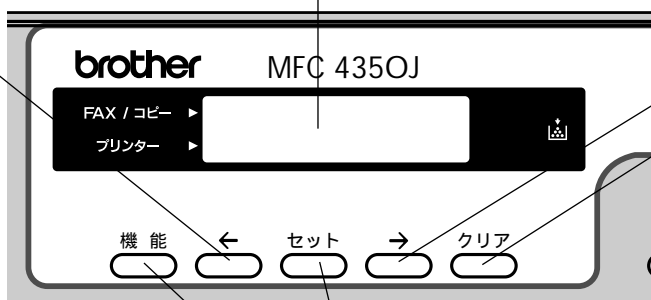
クリアボタン

入力したデータを消去するとき、機能モードの手順を1つ前に戻すときに押します。

ディスプレイ

月日、時刻、宛先、電話番号、各動作の状態やエラーメッセージを表示します。上の行には、ファクスとコピーの状況、下の行にはプリンターとスキャナの状況を表示します。

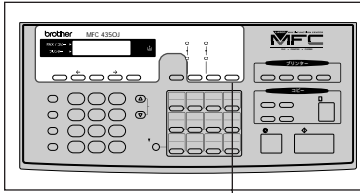
→ (右矢印)ボタン

各種登録・設定で選択するとき、ディスプレイのカーソルを右に動かすときに押します。

機能ボタン

機能モードに入るときに押します。

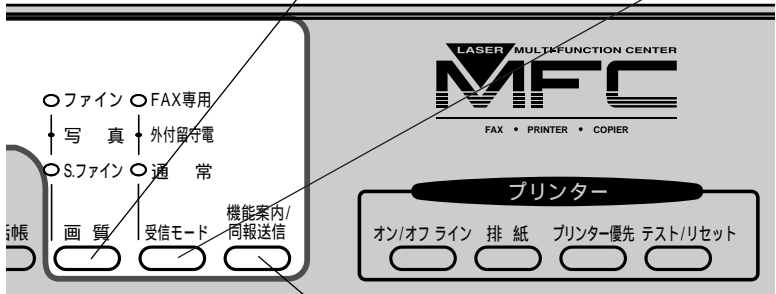
セットボタン

各種機能の設定、各種データの登録のときに押します。(取扱説明書<セットアップ編>19ページ参照)

C ディスプレイ機能設定部

画質ボタン

送信する原稿に合わせて、画質モードを設定するときに押します。(45ページ参照)

受信モードボタン

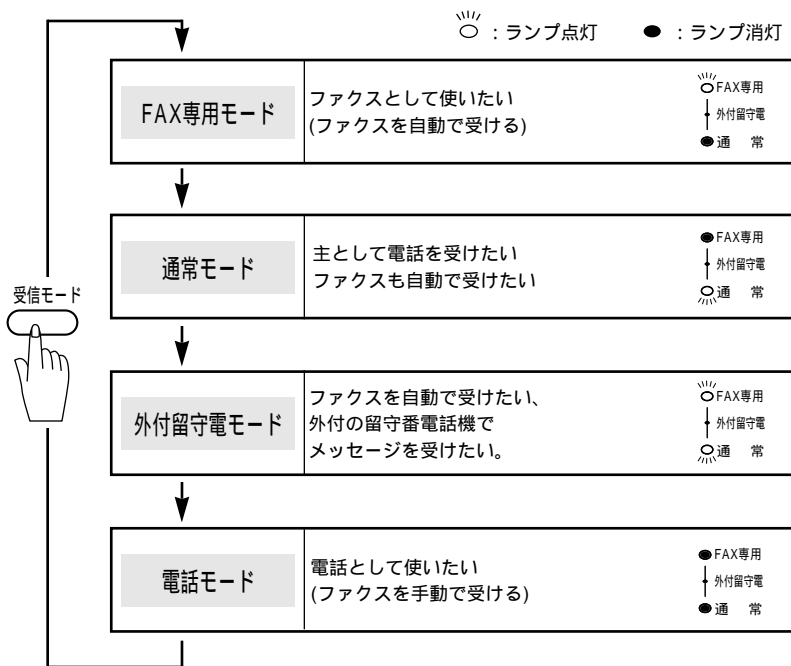
受信モードを切り換えるときに押します。(10ページ参照)

機能案内/同報送信ボタン

各種登録・設定方法などが書かれた機能案内リストをプリントするときに押します。また、同じ原稿を数箇所に順次送信するときに各送信先の間にこのボタンを押します。

2章

受信のしかた

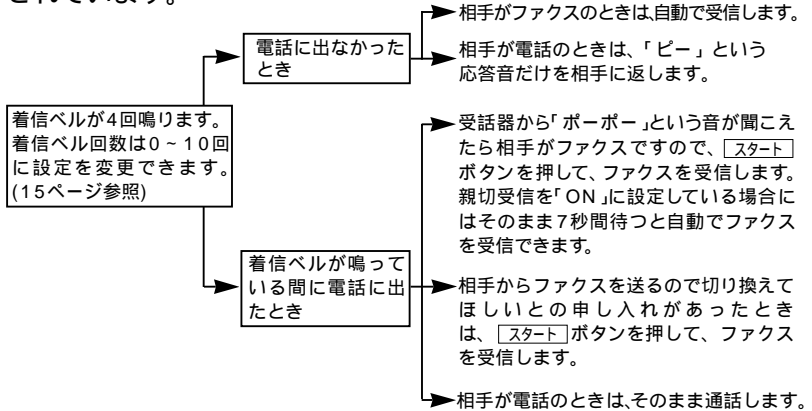
受信のしかたを選ぶ

本機の使用用途に応じて、4つの受信モードを選びます。
受信モードは[受信モード]ボタンを押して切り換えます。押すごとに下図のようにモードが変わります。
お買い上げ時は「FAX専用モード」に設定してあります。

メ　モ
●記録紙をセットしていないときにファクスを受信した場合はファクスは代行受信メモリに蓄積されます。メモリに蓄積されたファクスメッセージは、記録紙をセットすると自動的にプリントされます。

＜FAX専用モード＞

「ファクスとして使いたい(ファクスを自動で受ける)」

FAX専用
外付留守電
通　常

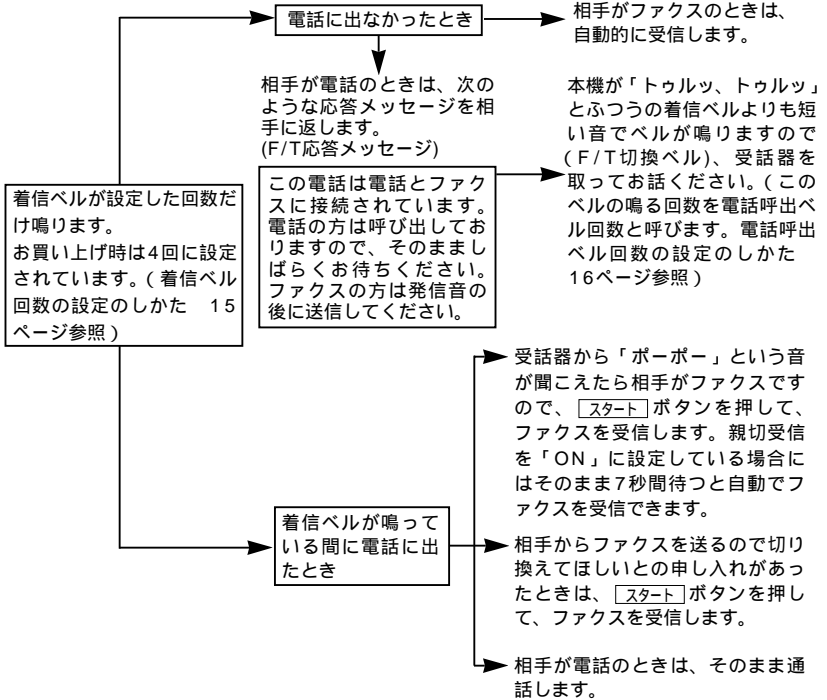
本機をファクス専用として使用するときに設定すると便利なモードです。お買い上げ時はこのモードに設定されています。

メ　モ

- FAX専用モードは、電話を受けても「ピー」という応答音を相手に返すだけです。電話を主にお使いになるときは、FAX専用モードに設定しないでください。
- 着信ベル回数は、0～10回まで変更することができます。0回に設定すると着信ベルを鳴らさずに自動受信(ノンコール着信)することができます。ファクスを早く着信したいときは呼出ベル回数を0回か1回に設定してください。(着信ベル回数の設定のしかたは、15ページを参照してください)

＜通常モード＞

「主として電話を受けたい、ファクスも自動で受けたい」

ファクスが送られてきたときは自動受信し、電話のときは続けて呼び出す便利なモードです。着信ベル回数は「0回～10回」の中のお好きな回数に設定できます。(この設定は電話に出なかったときでも、相手に電話料金がかかります。)

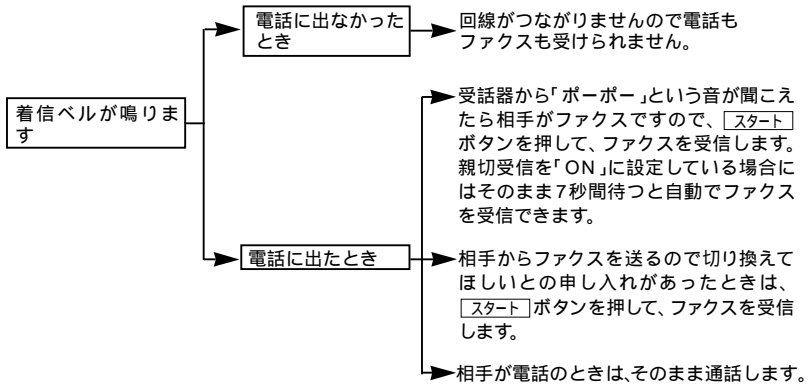
●FAX専用
外付留守電
通　常

メ　モ

- 通常モードでは、本機が着信すると電話に出なかったときでも、相手に通話料金がかかります。
- 回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り換わらないことがあります。そのときは スタート ボタンを押してから受話器を戻してください。
- 通話中に突然ファクス受信に切り換わってしまうことが度々あるときは、親切受信の設定を「しない（OFF)」に設定してください（18ページ参照)。そして、ファクス受信の際には スタート ボタンを押してから受話器を戻してください。
- 相手が手動送信のファクスのときは、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して、 スタート ボタンを押してください。
- 外付電話機を接続しているときは、外付電話機の着信ベルも一緒に鳴ります。着信ベルが鳴っている間に外付電話機で電話に出ると通話やファクス受信ができます。(20ページの「外付電話機からファクスを受信させる[リモート起動のしかた]」を参照してください)
- 相手が自動送信のファクスのときは、着信ベル(7～10回)が鳴っている間に相手機が電話を切ってしまうことがあります、このようなときは着信ベル回数を6回以下に設定してください。(15ページの「着信ベル回数を設定する」を参照してください)
- 親子電話、パラレル接続、ブランチ接続の場合、着信ベル回数を多めに設定することをおすすめします。（初期設定は４回です）

＜電話モード＞

「電話として使いたい(ファクスを手動で受ける)」

●FAX専用
外付留守電
●通　常

相手を確認してから[スタート]ボタンを押して、ファクスを受信します。本機を主に電話としてお使いになる方に適したモードです。

メ　モ

●相手が手動送信のファクスのときは、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して、[スタート]ボタンを押してください。
●外付電話機で電話に出たときも、ファクス受信することができます。(20ページ参照)
●タイマ送信やポーリング送信設定していない原稿がセットされていると、ファクス受信できませんので、原稿を取り除いてから[スタート]ボタンを押してください。親切受信が「ON」に設定されている場合には原稿をセットした状態で受信することができます。

メ　モ

キャッチホンの受けかた

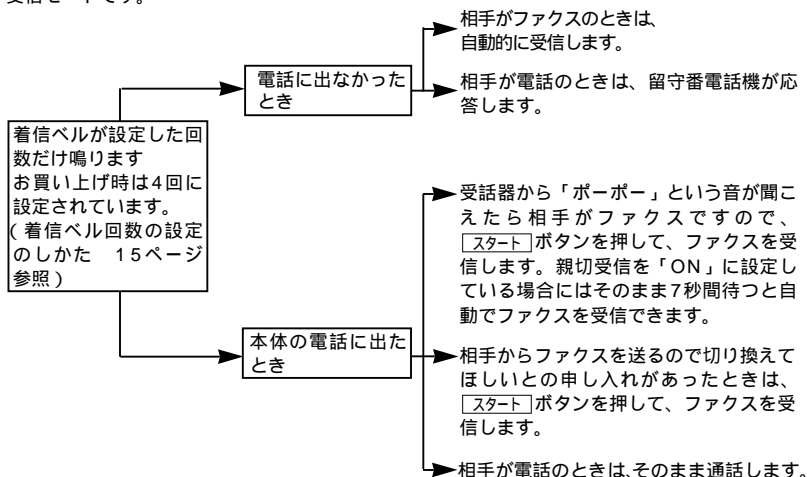
●NTTとキャッチホンまたはキャッチホンIIの契約をされている方は、キャッチホン/キャッチホンIIサービスを利用することができます。(局番なしの116番にお問い合わせください)

1. キャッチホンがかかってくると、通話中に「プップッ」という音が聞こえますので、その時に、[キャッチ/短縮]ボタンを押すと、新しくかかってきた相手の電話につながります。最初の相手には保留メロディが流れます。ファクスのときは「ポーポー」という音が聞こえますので、[スタート] ボタンを押してファクス受信が完了するまで受話器を戻さずにお待ちください。
2. 最初の相手に戻るときは、もう一度[キャッチ/短縮]ボタンを押します。

●ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像が乱れることが気になる方は、キャッチホンIIのご利用をおすすめします。
●キャッチホンでファクス受信するときに、ファクスを何枚も受信し、時間がかかってしまう場合がありますので、最初の相手との通話を終えてファクス受信することをおすすめします。
●キャッチホンに出ず、相手が先に電話を切った場合でも、本機のキャッチホンの呼出音がしばらく鳴り続けることがあります。

<外付留守電モード> → 83ページ参照

「ファクスを自動で受けたい、外付けの留守番電話機でメッセージを受けたい」

本機の外付電話機用（EXT.）端子に留守番電話機が接続されていることが前提のモードです（9ページ参照）。留守中のファクスやメッセージにも対応できる受信モードです。

■外付留守番電話機の設定について

1．留守モードにしておいてください。

2．応答するまでのベル回数は短め（1～2回）に設定してください。

3．応答メッセージは、できるだけ短め（20秒以内）にしてください。

4．応答メッセージには、BGMを録音しないでください。

5．録音用のテープがある場合は、テープが留守番電話機に入っていることを確認してください。

お願い

●留守番電話機の応答メッセージは、最初の4～5秒くらい無音状態を入れてください。

メ　モ

●着信ベル回数の変更は0～10回まで変更することができます。ファクスを早く着信したいときは着信ベル回数を少なく設定してください。（ベル回数の設定のしかたは、15ページを参照してください）

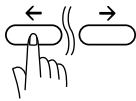
●メッセージがいっぱいで留守番電話機が自動的に応答しない場合は、ファクスも自動的に応答しません。

●留守番電話機が持っている機能のうち、使えない機能（転送機能など）が生じる場合があります。

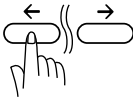
着信ベル回数を設定する

「FAX専用モード」、「通常モード」のとき、自動受信したり、応答メッセージが流れるまでの着信ベル回数を設定します。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン2、1を押します。

2 ←／→ボタンで、「チャクシンベルカイスウ」を選びます。

チャクシン ベルカイスウ

3 セットボタンを押します。

4 ←／→ボタンで、ベル回数（0～10）を選びます。

【例】ベル回数を10回に設定するとき

ベル カイスウ：10

5 セットボタンを押します。

6 停止ボタンを押します。

設定が終了します。

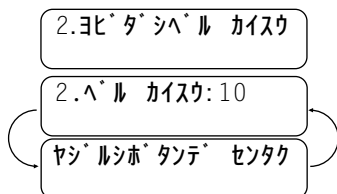
メ モ

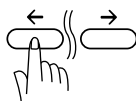
●「FAX専用モード」や「通常モード」のとき、外付電話機や並列接続された電話機の着信ベルも同様に、ここで設定された回数だけ着信ベルが鳴ります。

●着信ベル回数を0回に設定すれば、着信ベルを全く鳴らさずファクス受信することができます。

電話呼出ベル回数を設定する[通常モード]

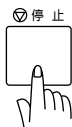
「通常モード」のとき、着信ベル回数を0〜10回のどれかに設定していて、相手が電話のとき、着信ベルが鳴り終わった後、設定した回数だけ「トゥルッ、トゥルッ」と着信ベルよりも短い鳴りかたでベルが鳴ります。このベルが鳴る回数を電話呼出ベル回数といいます。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン2、2を押します。

2 ←／→ボタンで呼出ベル回数を10/15/20回の中から選びます。

【例】ベル回数を15回に設定するとき

2.ベルカイスウ:15

3 セットボタンを押します。

4 停止ボタンを押します。

設定が終了します。

メモ
- お買い上げ時の呼出ベル回数の設定は10回です。
- 本機は設定された回数だけ電話呼出ベルを鳴らした後、自動的に電話を切ります。

手動でファクスを受信する[着信ベルが鳴っている間に受話器を取ったとき]

着信ベルが鳴っている間に受話器を取り、ファクスを受信したいときの操作です。

原稿をセットしたままでは受信できません。
原稿を取ってください。

メ　モ ●親切受信をONに設定している場合には原稿をセットしたままで受信することができます。

1 着信ベルが鳴ったら、受話器を取ります。

2 相手がファクスを送りたい場合、本機に記録紙がセットされていることを確認し、セットされていない場合は、記録紙をセットします。

3 ファクスに切り換えることを相手に伝えて スタート ボタンを押します。

4 受話器を戻します。

■電話に出なかったときは

受信モードの設定により異なります。10～14ページの受信モードを参照して、使用用途に合ったモードを設定してください。

■「ポーポー」という音が聞こえたら

受話器を取ったとき「ポーポー」という音が聞こえたら、相手がファクスを自動送信しているときです。スタート ボタンを押してください。親切受信を「ON」に設定している場合は、そのまま7秒間待つと自動でファクスを受信できます。

お願い
●相手が自動送信のファクスのときは、着信ベル(7回～10回)が鳴っている間に、相手が電話を切ってしまうことがあります、このようなときは着信ベル回数を6回以下に設定してください。(15ページの「着信ベル回数を設定する」を参照してください)
●相手が手動送信のファクスのときは、受話器を取っても無音のときがありますので、相手が電話でないことを口頭で確認して、スタート ボタンを押してください。

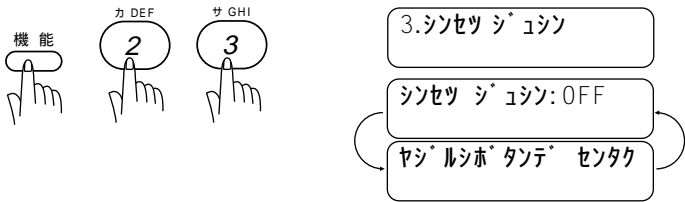
親切受信で受信する

親切受信は相手から自動送信のファクスが送られてきた場合、こちら側が自動受信を開始する前に電話に出たときでも、何も操作しなくてもファクスを受信できる便利な機能です。

本機で電話に出て「ポー、ポー」という音が聞こえた場合は、黙って約7秒間待つと自動的にファクス受信を始めます。ディスプレイに ｼﾞｭｼﾝ ﾁｭｳ と表示されたら受話器を戻します。

お買い上げ時は、「OFF」に設定してあります。

＜親切受信の設定のしかた＞

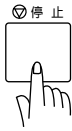
1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 2 、 3 を押します。

2 ← ／ → ボタンで、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】親切受信をする（ON）に設定するとき

ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ:ON

3 セット ボタンを押します。

4 停 止ボタンを押します。

設定が終了します。

メ モ ●回線の状態により「ポーポー」という音が聞こえても、ファクスに切り換わらないときがあります。そのときはスタートボタンを押してから受話器を戻してください。

メ モ ●通話中の声をファクスの「ポーポー」という音と間違えて、突然ファクスに切り換わってしまうことがたびたびあるときは、親切受信の設定を「しない（OFF）」に設定してください。

外付電話機からファクスを受信させる[リモート起動のしかた]

本機には親切受信機能（18ページ参照）があるので、通常は受話器をとって「ポーポー」という音が聞こえた後、そのまま待てばファクスを受信します。しかし親切受信が上手くはたらかないか、設定がOFFになっている場合などに本機に接続されている外付電話機から操作をしてファクス受信を開始させることかできます。

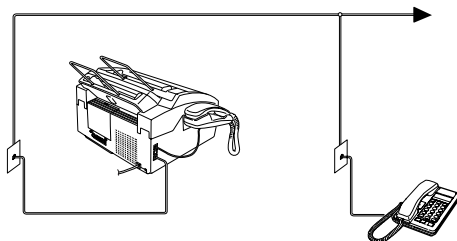
■リモート受信コードについて

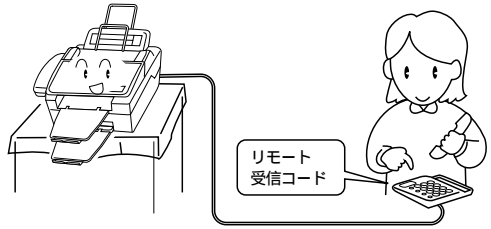
本機の「EXT.」端子に接続されている外付電話機から、本機をリモート受信させるときに使用するものです。お買い上げ時は「#51」に設定されています。

■リモート停止について

本機と並列接続された電話機の操作により、先に本機が取った回線を並列接続された電話機に切り換えるときに使用します。
本機の受信モードが「通常モード」のときに、本機だけが「トゥルッ、トゥルッ」と鳴っている(電話呼出ベル)ときや、「留守モード」のときの用件応答メッセージが流れているときまたはその後電話をかけてきた相手が音声メッセージを入れているときに、並列接続された電話機で通話をしたいときは、並列接続された電話機からリモート停止コードをダイヤルすると、電話呼出ベルの鳴動が停止するかまたは留守応答メッセージが停止し、回線を切り換え、相手と話すことができます。(外付電話機ではリモート停止をさせることはできません)
リモート停止コードは、お買い上げ時は「＊51」に設定されています。

メモ
- ●この機能は、電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
- ●外付電話機の接続方法は取扱説明書<セットアップ編>11ページの「外付電話機の接続をする」を参照してください。
- ●受信モードが外付留守電に設定されているときには、リモート受信はできません。

メモ
- ●並列接続とは、別の電話機（またはファクシミリ）を同じ回線上の別の電話機コンセントに接続する電話のひきかたです。（下図参照）

外付電話機の受話器を持ったまま、ダイヤルボタンでリモート受信コードを入力します。
受話器は約5秒後に戻してください。

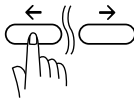
本機がファクス受信を始めます。

なお、上記のようにリモート受信を使用するときは、リモート起動設定を「ON」にする必要があります。以下の手順で設定してください。また、リモート受信コードとリモート停止コードを自分の好きな番号に変更することもできます。

＜リモート起動設定のしかた＞

1

機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 2 、 4 を押します。

2

← ／ → ボタンを押して、「ON」を選びます。

ﾘﾓｰﾄ ｷﾄﾞｳ:ON

3

セット ボタンを押します。

ｷﾄﾞｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:#51

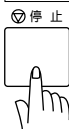
●リモート受信コード(3桁)を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。
●変更しないときは、次に進みます。

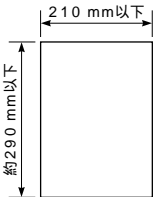
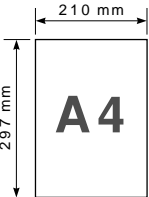
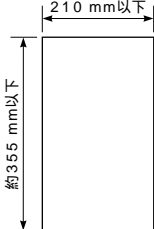
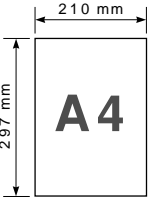
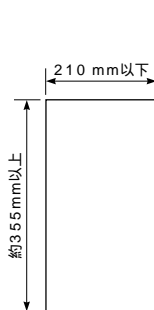
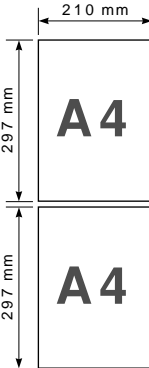
4 セット ボタンを押します。

ﾃｲｼ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:＊51

●リモート停止コード(3桁)を変更するときは、ダイヤルボタンで入力します。
●変更しないときは、次に進みます。

5 セット ボタンを押します。

6 停 止 ボタンを押します。

メ モ

●**トーン(PB)信号が送出できない電話機「ダイヤル回線」をお使いの方でリモート起動するとき**
電話がかかってきたときの、外付電話機からのリモート受信のみ操作できます。その場合、リモート受信コードの下2桁がリモート受信コードとなります。たとえば「#51」のときは「51」がリモート受信コードとなります。なお、下2桁に「#」または「＊」を登録すると、リモート受信できませんのでご注意ください。
●トーン(PB)信号を送出できない電話機からのリモート停止はできません。

縮小受信のしかた

＜自動縮小受信＞

A４の長さを超える原稿が送信されてきたときは、A４サイズの記録紙に入りきらず2枚に分かれてしまうため、自動的にA４サイズの記録紙に収まるように縮小してプリントする機能です。
送信原稿の長さに応じ自動的に縮小率を決め、約355mmまでの原稿を1枚に縮小受信します。約355mmを超えた原稿は縮小せずに2枚に分けて受信します。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

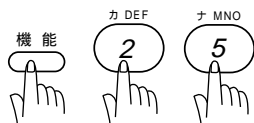
①自動縮小が「ON」に設定してある場合

原　稿	記録紙	備　考
210 mm以下 約290 mm以下	210 mm 297 mm A4	1枚の記録紙に等倍で記録される。短い原稿の場合は余白が付加される。
210 mm以下 約355 mm以下	210 mm 297 mm A4	290 mmより長く約355 mmより短い原稿を受信した場合は、1枚の記録紙に収まるように自動的に縮小記録します。
210 mm以下 約355mm以上	210 mm 297 mm A4 297 mm A4	約355 mmより長い原稿を受信した場合は、2枚の記録紙に分割して等倍で記録します。

メ　モ
- ●原稿の長さは目安です。回線の状況によって変わります。
- ●メモリ残量が少ないとき、原稿が複雑なときは自動縮小されない場合があります。
- ●自動縮小受信を「OFF」に設定していても、B4あるいはA3サイズの原稿が送られてきたときは、A4サイズの記録紙に縮小されてプリントされます。

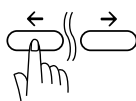
＜自動縮小受信の設定のしかた＞

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 2 、 5 を押します。

5.ジドウ シュクショウ

ジドウシュクショウ:ON

ヤジルシボタンデ センタク

2 ←／→ ボタンを押して、「ON」、「OFF」を選びます。

【例】自動縮小受信する（ON）に設定するとき

ジドウシュクショウ:ON

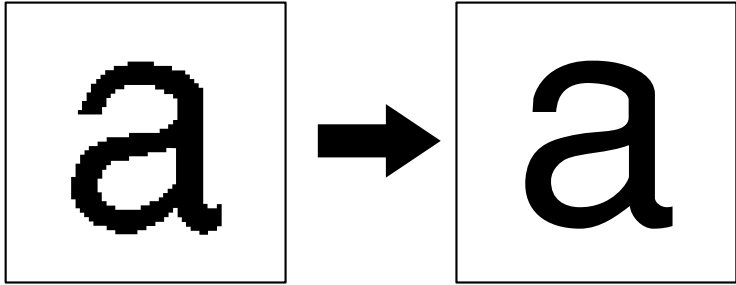
3 セット ボタンを押します。

4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。

メ モ ●自動縮小受信しない「OFF」に設定したときに受信の度に白紙がもう１枚排出されることがあります。そのときは、自動縮小受信する「ON」に設定してください。

スムージング記録について

MFC 4350Jはスムージング記録機能により、「標準」、「ファイン」モードで送信されてきた原稿の線や文字のギザギザを補正し、滑らかな線や文字で見やすく受信します。

スムージング受信

メ　モ　**スムージング記録について**

- 「S.ファイン」モードで送信されてきた場合は、スムージング記録ははたらきません。
- 送信するファクスやプリントするリスト・レポートには、スムージング記録ははたらきません。

メモリ代行受信

記録紙やトナーがなくなったときは、送られてきたファクスを自動的にメモリに記憶します（メモリ代行受信）。新しい記録紙をセットすると自動的にプリントします。
ディスプレイに キロクシ カクニン と表示されますので、早めに新しい記録紙をセットしてください。またはトナーを新しく交換してください。新しい記録紙やトナーをセットするとメモリが代行受信したファクスを自動的にプリントします。

お願い

- 停電があったり、電源が切れて数時間たったときは、メモリで代行受信した内容は消えます。
- メモリがいっぱいになると、それ以降は代行受信できません。

メ　モ

- プリントされたファクスはメモリから消去されます。
- 記録紙がつまるなどのプリントできない状態になったときも、メモリで代行受信します。

本機の操作で相手の原稿を受信する[ポーリング受信]

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させることをポーリング通信といいます。本機が受信側のときポーリング受信といいます。ポーリング方式のファクス情報サービス(30ページ参照)も一種のポーリング受信です。(ポーリング送信→67ページ参照)

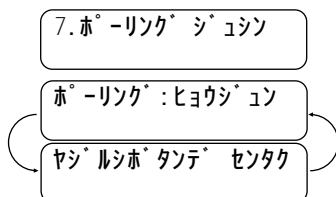
メモ 相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

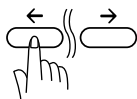
■ポーリング受信・機密ポーリング受信

ポーリング受信には、通常のポーリング受信と、受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用して受信する機密ポーリング受信の2つがあります。相手先のファクシミリがポーリング送信の準備ができていないと受信できません。

＜機密ポーリング受信の設定のしかた＞

機密ポーリング受信を設定するときには、送信側と4桁のパスワードを決めます。
送信側とパスワードが一致したときだけ受信できます。
原稿が挿入口にないことを確認します。受話器を置いたまま操作します。

1 [機能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[2]、[7]を押します。

●「ヒョウジュン」ポーリングで受信したいときは[セット]ボタンを押して手順6に進みます。

2 [←]／[→]ボタンを押して、「キミツ」を選びます。

ポーリング:キミツ

3

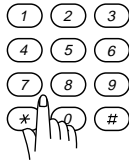
セットボタンを押します。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:XXXX

●パスワードの入力を促す表示になります。

4

ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力します。

【例】パスワードが１２３４のとき

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:1234

5

セットボタンを押します。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

●相手先の電話番号の入力を促す表示になります。

6

相手先の電話番号を入力します。

●ダイヤルのしかたは40ページを参照してください。

7

スタートボタンを押します。

ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ #01
ｵﾝﾗｲﾝ

ｼﾞｭｼﾝ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

●ポーリング受信を開始します。

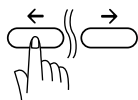
■時刻指定ポーリング（タイマポーリング受信）

ポーリング受信する時刻を設定して、相手側のファクシミリにセットされた原稿を自動的に受信することができます。

＜時刻指定ポーリングの設定のしかた＞

原稿が挿入口にないことを確認します。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 2 、 7 を押します。

2 ← ／ → ボタンを押して、「ポーリング：タイマ」を選びます。

3 セット ボタンを押します。

ｼﾃｲｼﾞｺｸ=10:23

●現在の時刻が表示されます。

4 ダイヤルボタンでポーリング受信する時刻（24時間制）を入力します。

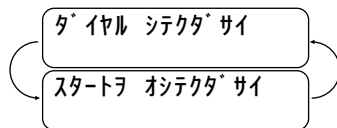
【例】午後7時45分（19:45）にセットするとき

ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=19:45

5 セット ボタンを押します。

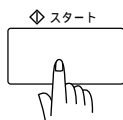
セット

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

6 相手先の電話番号をダイヤルします。

●ダイヤルのしかたは40ページを参照してください。

7 スタート ボタンを押します。

指定時刻になると、自動的にポーリング受信します。

メ モ ●時刻指定ポーリング（タイマポーリング受信）を解除したいときは73ページの「タイマ送信・ポーリング送信の解除のしかた」を参照してください。

ファクス情報サービスを利用する

各種のファクス情報サービスを利用することができます。
ファクス情報サービスには、ガイダンス方式とポーリング方式の2種類があり、それぞれの操作を行うことにより、簡単にファクス情報サービスを利用することができます。
また、よく利用する情報サービスがある場合には、情報番号をワンタッチボタンに登録しておくと便利です。音声ガイダンスに従って、あらかじめ登録しておいたワンタッチボタンを押すと、簡単に情報サービスを利用することができます。（ワンタッチダイヤルの登録のしかた→取扱説明書〈セットアップ編〉48ページ参照）

＜ガイダンス方式の受信のしかた＞

次の手順は一般的な操作例で、各情報サービスにより操作方法が異なります。音声ガイダンスに従って操作してください。

1 受話器を取るか、オンフックボタンを押します。

2 情報サービスセンターの電話番号をダイヤルします。

情報サービスセンターにつながると音声ガイダンスが聞こえます。

3 音声ガイダンスに合わせてダイヤルボタンで情報番号を入力します。

4 スタートボタンを押します。

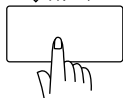
自動的に受信を開始します。
受話器を上げているときは、受話器を戻します。

＜ポーリング方式の受信のしかた＞

1 受話器を取るか、［オンフック］ボタンを押します。

2 情報サービスセンターの電話番号をダイヤルします。

3 「ピー」という音が聞こえたら［スタート］ボタンを押します。

自動的に受信を開始します。
受話器を上げているときは受話器を戻します。

お願い ダイヤル回線のときは情報番号を入力する前に、必ず［＊］（トーン）ボタンを押してから入力してください。

メモ ワンタッチボタンに情報番号を登録しておけば簡単にダイヤルすることができます。

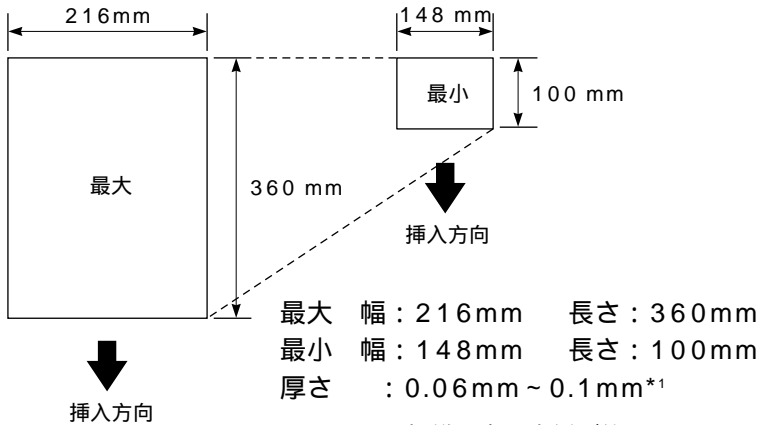
3章

送信のしかた

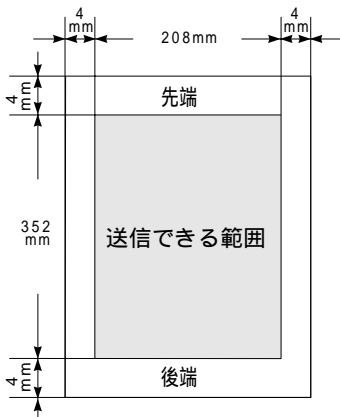
原稿について

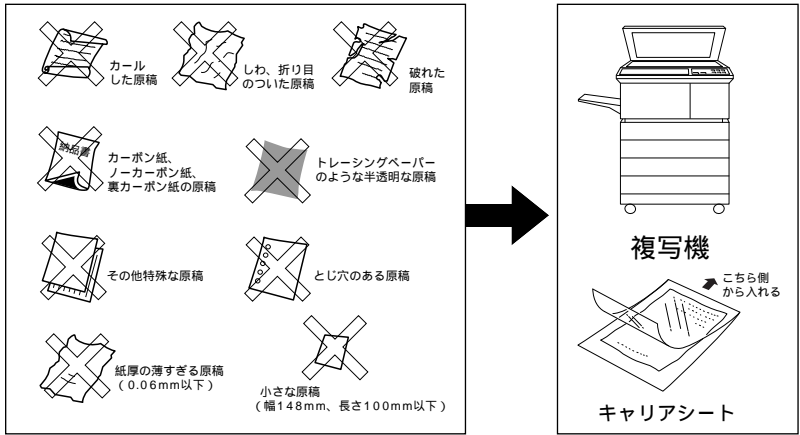
＜原稿サイズ＞

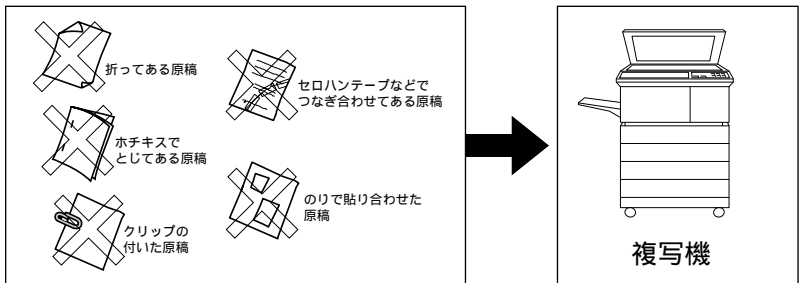
セットできる原稿サイズは次のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、複写機で拡大・縮小コピーするか、小さすぎる原稿は市販のキャリアシートに入れてからセットしてください。

最大　幅：216mm　　長さ：360mm
最小　幅：148mm　　長さ：100mm
厚さ　　：0.06mm〜0.1mm*1

*1：この取扱説明書の表紙が約0.15mm、このページが約0.07mmですので、原稿の厚さの目安としてください。

＜原稿の読み取り範囲＞

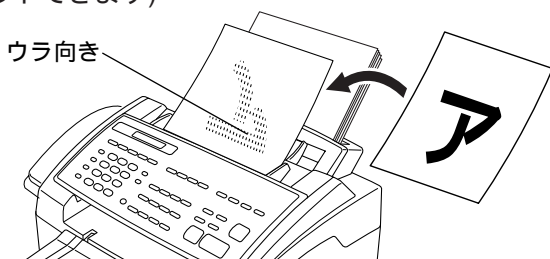
原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

<原稿についてのご注意>

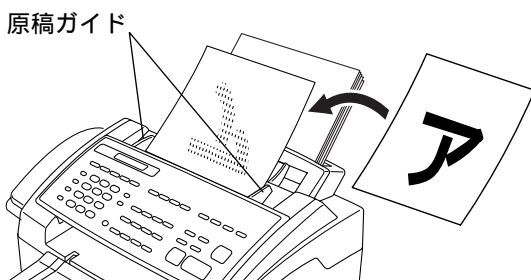
次のような原稿は、複写機でコピーするか、市販のキャリアシートをお使いください。

★自動連続送信の場合は、キャリアシートはお使いになれません。
★キャリアシートは、古くなったら新しいものとお取り換えください。

次のような原稿は、複写機でコピーしてから、送信原稿としてください。

★インクなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
★原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り除いてください。
★異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
★原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。

原稿をセットする

ファクス原稿のサイズや読み取り範囲については前ページを参照してください。送信やコピーをするときは、次の手順で原稿をセットしてください。

1 原稿の先端を揃え、裏向きにしてセットします。(一度に20枚までセットできます)

●原稿をきれいに揃えてください。
●原稿が静電気等でくっついていないことを確認してください。
●原稿の先が軽くあたるまで差し込んでください。

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

●原稿が正しくセットされると次のようにディスプレイに表示されます。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

送信するときは38ページを参照してください。

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

コピーするときは76ページを参照してください。

■セットした原稿を取り出すときは

●ファクス送信やコピーの開始前は、そのまま原稿を取り除いてください。

●ファクス送信やコピーがすでに始まっているときは、まず送られていない原稿を取り除き、停止ボタンを押してください。ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲと表示されたらもう一度停止ボタンを押してください。ファクス送信、またはコピーが中断され原稿が排出されます。

お願い

●キャリアシートを使用するときは、折り目側を先端にして1枚ずつセットしてください。
●原稿を強く押し込みすぎると複数枚の原稿が一度に送られたり、原稿づまりになることがありますので注意してください。
●異なったサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
●原稿は1枚ずつ送られますので、クリップ、ホチキスの針などは必ず外してください。

ファクスを送信する

ファクスを送るときの操作は自動送信と手動送信の2とおりがあります。また、MFC 4350Jは、送信は通常はメモリ送信となっており、[スタート]ボタンを押すと原稿はメモリに読み込みされてから相手先へ送信されます。読み込みは他の送受信を行っているときでも可能です。

メモリの空きがなくなり、原稿の読み込みができなくなった場合は43ページの「送信を予約する（リアルタイム送信）機能」を使用すると便利です。

＜自動送信＞

ファクスだけ送信したいとき

＜手動送信＞

相手側と一度話してからファクスを送りたいとき

1 原稿をセットします(一度に20枚まで)。原稿の先端を揃え、裏向きにセットします。

●必要に応じて、原稿濃度(53ページ参照)、画質モード(45ページ参照)を設定します。

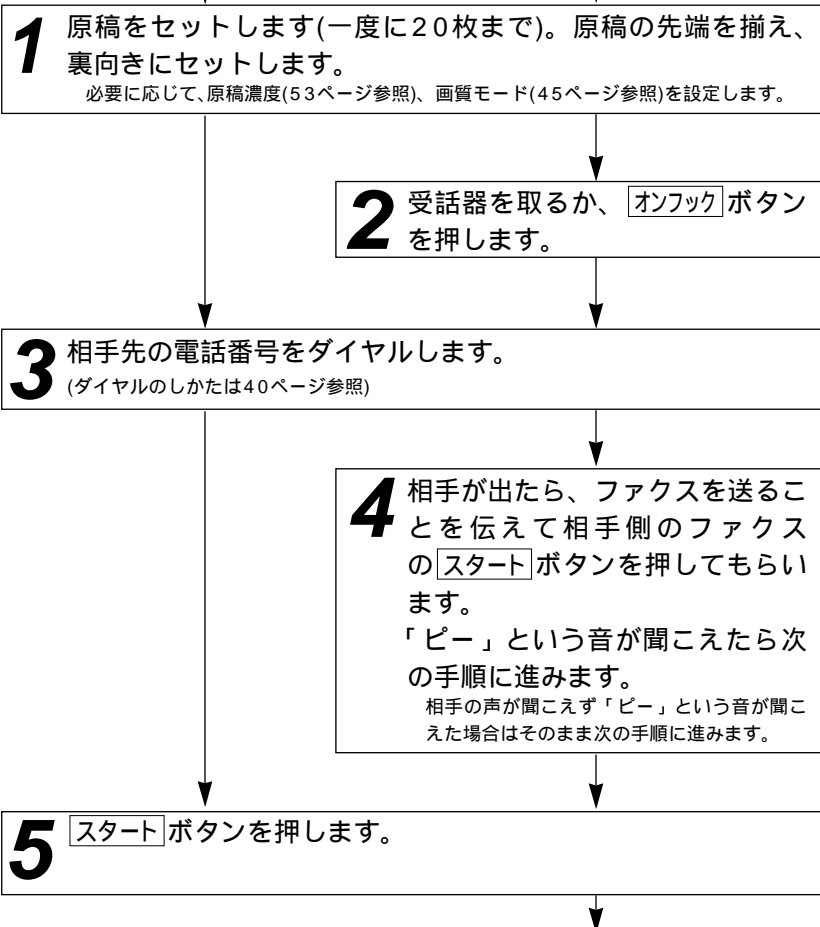
2 受話器を取るか、[オンフック]ボタンを押します。

3 相手先の電話番号をダイヤルします。

(ダイヤルのしかたは40ページ参照)

4 相手が出たら、ファクスを送ることを伝えて相手側のファクスの[スタート]ボタンを押してもらいます。

「ピー」という音が聞こえたら次の手順に進みます。

●相手の声が聞こえず「ピー」という音が聞こえた場合はそのまま次の手順に進みます。

5 [スタート]ボタンを押します。

6 受話器を上げているときは、受話器を戻します。

●このとき 停止 ボタンは押さないでください。途中でファクス送信が中止されます。

メモ ●海外へ送信するときは、回線の状況や地域等により正常に通信できない場合があります。このようなときは海外送信モード(55ページ参照)を設定しください。通信エラーが少なくなります。

■送信を途中で止めるときは

スタート ボタンを押す前ならば、受話器を戻すか オンフック ボタンを押します。 スタート ボタンを押した後、途中で止めたいときは 停止 ボタンを押します。まだ原稿が繰り込まれていないときは原稿を取り除いてください。原稿が繰り込まれているときは ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ と表示されますので再び 停止 ボタンを押し、原稿が排出されるまで待ってから原稿を取り除きます。

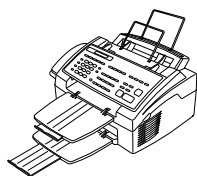
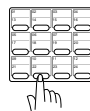
メモリに読み込んだ原稿の送信待ちが複数件ある場合には73ページの「通信待ち確認／メモリ送信の解除のしかた」を参照にしてください。

■オンフック ボタンを押してダイヤルしたとき

送信先の相手の声が聞こえたら、受話器を取って相手にファクスを送信することを伝え スタート ボタンを押してもらいます。「ピー」という音が聞こえたら スタート ボタンを押してから、受話器を戻します。

■ECM通信について

ECM（Error Correction Modeの略称）とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。

・送信側・受信側ともにECM機能を持っていないとECM通信は行われません。
・ECM通信中に雑音などで影響を受けた場合は、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
・ECM通信を行っても、回線の状況によってはエラー終了することがあります。

電話帳の使いかた

あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルやグループダイヤルに登録されている相手先名称をディスプレイ上で検索し、そのまま検索した相手に電話をかけたり、ファクス送信することができます。

1

電話帳 ボタンを押します。

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

2

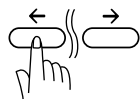
探したい相手先名称の最初の１文字を入力します。
（文字入力のしかたは取扱説明書〈セットアップ編〉１６〜１８ページ参照）

【例】「エイギョウダイ１」という相手先を探すとき「エ」と入力します。

ｴｲｷﾞｮｳｶ
ｵﾝﾗｲﾝ

●入力した最初の１文字を含む 50 音順、アルファベット順で一番最初の相手先名称が表示されます。

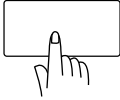
3

← ／ → ボタンを押して、送信する相手の名前をディスプレイに表示させます。

ｴｲｷﾞｮｳﾀﾞｲ1
ｵﾝﾗｲﾝ

4

電話をかけるときは、受話器を取るか オンフック ボタンを押します。

5 スタートボタンを押します。

●ファクス送信するときは、原稿がセットされていることを確認し、再度スタートボタンを押してください。

メモ

●登録されている相手先名称を50音順・アルファベット順に並べ換えた電話帳リストをプリントすることができます。プリントのしかたは、108ページを参照してください。

●グループダイヤルはファクス送信専用ですので電話をかけることはできません。

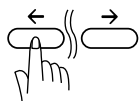
原稿を直接送信する［リアルタイム送信］

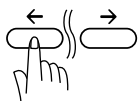
すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。急いで送信したいときや、送信している相手先を確認したいときに便利です。また、メモリに送信待ち原稿がたくさんある場合にリアルタイム送信で優先して原稿を送信できます。

メ　モ ●原稿はメモリに蓄積されません。指定できる相手先は1件です。

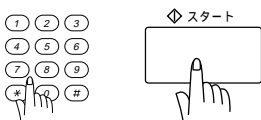
1 原稿をセットしてください。

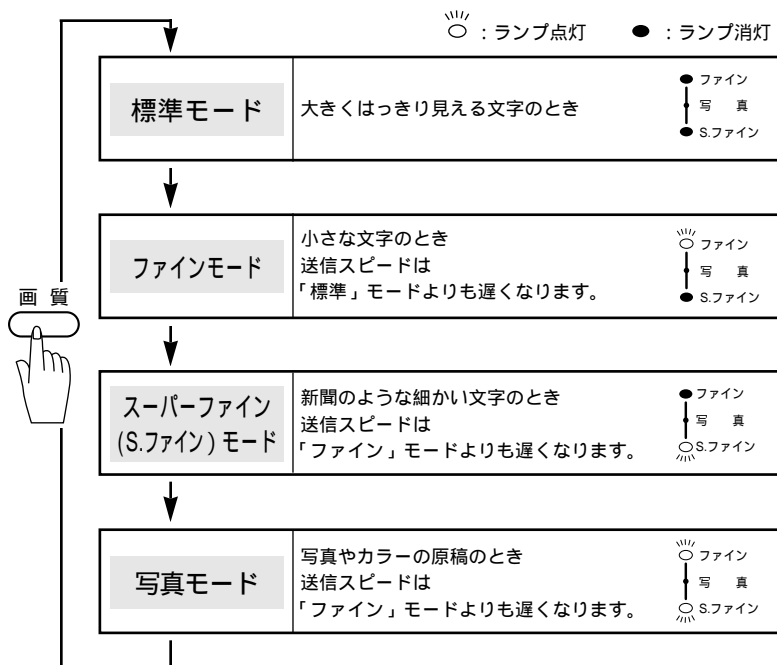
2 機 能ボタンを押し、ダイヤルボタン3、9を押します。

3 ←／→ボタンで「リアルタイム　ソウシン：ON」、「リアルタイム　ソウシン：OFF」、「コンカイノミ」のどれかを選びます。（「リアルタイム　ソウシン：ON/OFF」のどちらかを選んだ場合手順７へ進みます。）

4 セットボタンを押します。

5 「コンカイノミ」を選んだ場合[←]／[→]ボタンで「コンカイノミ：ON」、「コンカイノミ：OFF」のどちらかを選びます。

6 [セット]ボタンを押します。

7 他の送信設定をするときはダイヤルボタン[1]を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン[2]を押して終了します。

8 ダイヤルボタンで相手の番号を入力し[スタート]ボタンを押します。

原稿に合わせて、画質モードを選ぶ

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質モードを設定し送信やコピーを行います。
通常の原稿を送信するときには「標準」モードに設定されていますので、特にこの設定をする必要はありません。
画 質 ボタンを押すごとに下図のようにモードが変わります。

1 原稿をセットします。

2 画 質 ボタンを押します。

画質モードの設定は、1回の送信が終了すると、自動的に「標準」モードに戻ります。

メ　モ
- 原稿がセットされていないときに[画質]ボタンを押すことはできません。
- 「標準」モードに比べ、「ファイン」、「S．ファイン」、「写真」モードで送ると送信時間が長くかかります。
- 「写真」モードの送信で相手機が「標準」モードしかない場合は、画質が劣化します。
- 「S．ファイン」モードで送信しようとしても、相手機が「S.ファイン」モードをもっていないときは「ファイン」モード受信されることがあります。

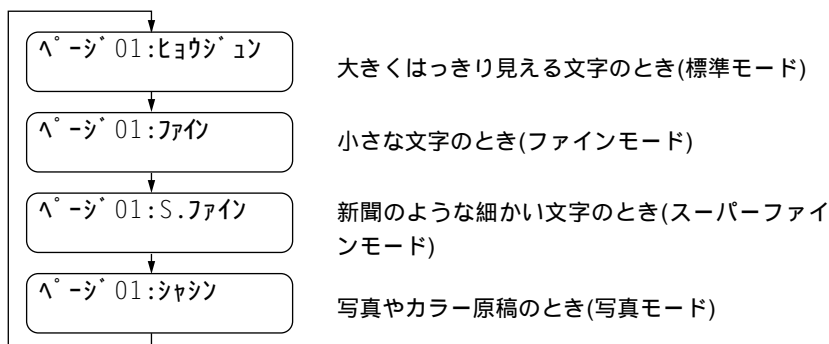
ページごとに画質モードを設定する

1ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときなど、ページごとに画質モードを設定し、ファクスを送信したりコピーすることができます。

大きくはっきり見える文字のとき(標準モード)

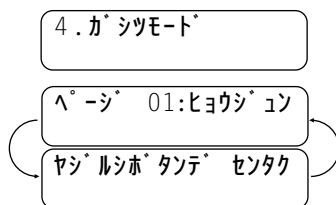
小さな文字のとき(ファインモード)

新聞のような細かい文字のとき(スーパーファインモード)

写真やカラー原稿のとき(写真モード)

1 原稿をセットします。

2 [機 能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[3]、[4]を押します。

ﾍﾟｰｼﾞ 01:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

3

[←]／[→]ボタンで1ページ目の画質を選びます。

【例】「ファイン」に設定するとき

ﾍﾟｰｼﾞ01:ﾌｧｲﾝ

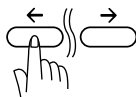
4

[セット]ボタンを押します。

ﾍﾟｰｼﾞ02:ﾌｧｲﾝ

●2ページ目の画質の設定を促す表示になります。

5

[←]／[→]ボタンで2ページ目の画質を選びます。

ﾍﾟｰｼﾞ02:ﾌｧｲﾝ

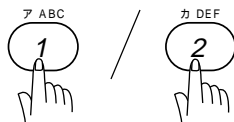
●最後の原稿まで手順4と5を繰り返します。最後の原稿になったら、手順6に進みます。

6

[セット]ボタンを押します。

7

他の送信設定をするときはダイヤルボタン[1]を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン[2]を押して終了します。

8

相手先の電話番号をダイヤルします。

ダイヤルのしかたは40ページを参照してください。

9

[スタート]ボタンを押します。

送付書を付けて送信する

相手先の名前、電話番号、発信元データや通信日時などをプリントした送付書を、自動的に原稿と一緒に送信することができます。
送付書は下のような書式になっています。

書式を確認するときは、下記の「送付書送信の設定のしかた」手順2で「プリントサンプル」を選びプリントしてください。

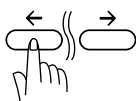
＜送付書送信の設定のしかた＞

この方法で送付書送信の設定をすると、ファクス送信をする度に相手に送付書が送られます。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3、1を押します。

1.ｿｳﾌｼｮ

2 ←／→ボタンで「ON」、「OFF」、「コンカイノミ」、「プリントサンプル」を選びます。

【例】今回の送信原稿だけに送付書を付けるとき

ｺﾝｶｲﾉﾐ

- 「プリントサンプル」を選んだときは、セットボタンを押してスタートボタンを押します。
- 「ソウフショ：ON」を選んだときは、手順4に進みます。
- 「ソウフショ：OFF」を選んだときは、手順7に進みます。

3

セット ボタンを押します。 ← ／ → ボタンで「コンカイノミ：ON」を選びます。

● 「コンカイノミ：OFF」を選んだときは、手順7に進みます。

4

セット ボタンを押します。 ← ／ → ボタンでコメントを選びます。

【例】「オデンワ　クダサイ」を選んだとき

2.ｵﾃﾞﾝﾜ ｸﾀﾞｻｲ

5

セット ボタンを押します。

6

ダイヤルボタン2桁で送信枚数を入力します。

ﾏｲｽｳ?　:02

●2枚のときは02と入力します。

7

セット ボタンを押します。

8

他の送信設定をするときは、ダイヤルボタン 1 を押して設定を続けます。他の設定をしないときは、ダイヤルボタン 2 を押して、手順9に進みます。

9 相手先の電話番号をダイヤルします。

10 スタートボタンを押します。

メモ

●**送付書のコメントについて**

下記の6種類のコメントから選びます。

1.(コメント　ナシ)	2.オデンワ　クダサイ	3.シキュウ
4.シンテン	5.(オリジナル　コメント)	6.(オリジナル　コメント)

5.6.のオリジナルのコメントは51ページを参照して登録してください。

●**送付書の自動送信について**

送付書送信を「ON」に設定をしたときには、送信枚数は送付書にプリントされません。また、選んだコメントは、すべての送付書にプリントされます。

●パスワードなど他人に知られたくない情報が送付書に残ることがありますので、パスワードなどを登録している場合は送付書を付けないでください。

お願い

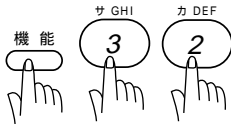
●発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)をすべて登録しないと「送付書送信の設定」ができません。(取扱説明書<セットアップ編>39、40、41ページ参照)

●送付書の「TO:　」の名前は、あらかじめワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルなどで登録されていないと表示されません。また順次同報送信の場合にはこの欄の名前は表示されません。

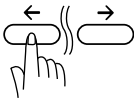
送付書のコメントを登録する

送付書のコメント欄に載せる2種類のオリジナルコメントを作成し、登録することができます。

1

機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3、2を押します。

2

←／→ボタンで、オリジナルコメントを登録する箇所(5または6)を選びます。

【例】6にオリジナルコメントを登録するとき

6.

3

セットボタンを押します。

6.

ニュウリョク/セットホ゛タン

4

ダイヤルボタンでオリジナルのコメントを入力します。

【例】「ゴクヒ」というコメントのとき

6.コ゛クヒ

- ●コメントは27文字まで入力できます。
- ●文字入力のしかたは取扱説明書〈セットアップ編〉16～18ページを参照してください。

5

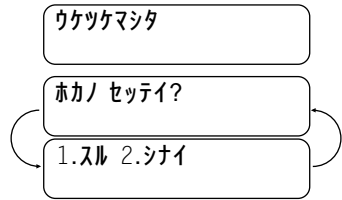
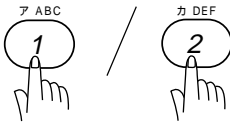
セット ボタンを押します。

セット

ウケツケマシタ

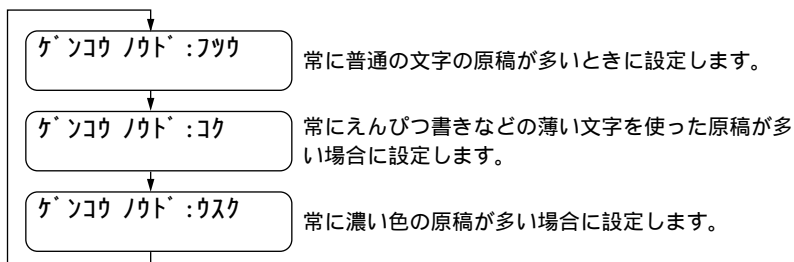
ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

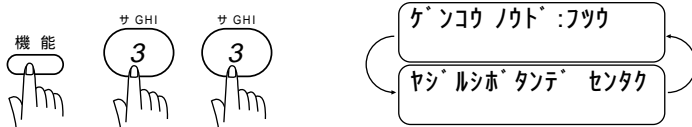
6

他の送信設定をするときはダイヤルボタン 1 を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン 2 を押して終了します。

メ モ

- ●コメントを変更したいときは、手順1から操作して、再登録してください。
- ●コメント5または6を入れて送付書を送信したいときは、49ページの手順4で、コメント5または6を選択することを忘れないでください。

原稿濃度を設定する

送信やコピーするときの原稿濃度を設定します。

原稿濃度の設定は、1回の送信やコピーが終了すると、自動的に「フツウ」に戻ります。

1 原稿をセットします。

2 機 能 ボタンを押して、ダイヤルボタン 3 、 3 を押します。

3 ← ／ → ボタンで濃度を選びます。

【例】「コク」に設定するとき

ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ:ｺｸ

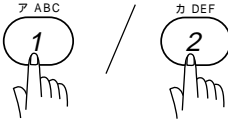
4 セットボタンを押します。

ウケツケマシタ

ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

5 他の送信設定をするときはダイヤルボタン1を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン2を押して終了します。

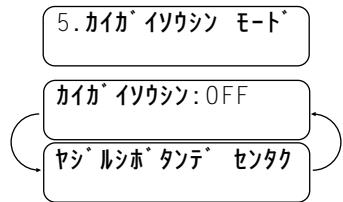
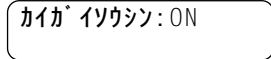
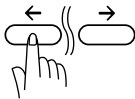
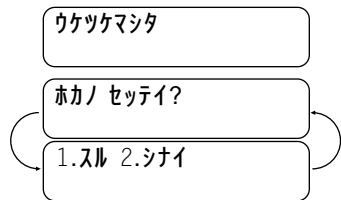
ア ABC 1 / カ DEF 2

海外へ送信する[海外送信モード]

海外へ送信するときは、回線の状況などによって正常に送信できないことがあります。このようなときは海外送信モードを「ON」に設定してから送信を行うと、通信エラーになることが少なくなります。

1 原稿をセットします。

2 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 3 、 5 を押します。

3 ← ／ → ボタンを押して、「ON」を選びます。

カイガ゛イソウシン:ON

4 セット ボタンを押します。

5 他の送信設定をするときは、ダイヤルボタン 1 を押して設定を続けます。他の設定をしないときは、ダイヤルボタン 2 を押して、手順6に進みます。

6 相手先の電話番号をダイヤルします。

7 スタートボタンを押します。

メモ

●海外送信モードを「ON」にしたときは、通信速度が遅くなって送信時間がかかり、電話料金が高くなることがあります。

●海外へ送信するとき、相手のファクシミリとつながるまでに時間がかかるために送信できないことがあります。その場合は、手動送信で相手の「ピー」という音を聞いてからスタートボタンを押して送信してみてください。

お願い

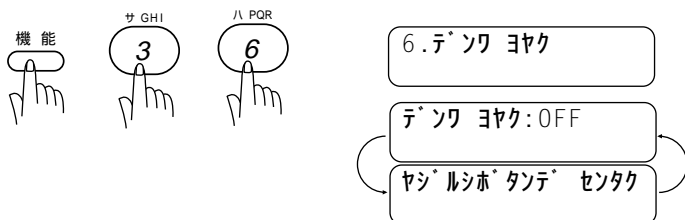
MFC 4350Jは、お買い上げ時には、国内の相手と通信することを前提とした設定になっています。海外との通信を主に行われる方は、重要な通信を行う前に相手の方と正常に通信できるか確認をしてください。正常に通信できないときは、本機の設定を変更することにより、通信できるようになる場合もありますので、海外送信モードに設定してください。詳しくは、フリーダイヤル0120−143410にご相談ください。

●国際通信については下記の番号へお問い合わせください。
ＫＤＤ（国際電信電話）　：局番なし　0057（無料）
ＩＴＪ（日本国際通信）　：0120-44-0041（無料）
ＩＤＣ（国際デジタル通信）：0120-03-0061（無料）

ファクス送信後に相手と話す[電話予約]

ファクスを送信し終わった後、相手と通話したいときに使用します。
ファクス送信が終わると、もう一度相手先の呼出音を鳴らし相手を呼び出します。相手が電話に出ると本機の呼出音が鳴り、受話器を取って通話できます。
なお、伝言メッセージ機能も「ON」に設定すると、相手が電話に出なかったときは「オデンワ　クダサイ」という伝言メッセージを相手に送信することができます。伝言メッセージを確認するときは、下記の設定で「プリントサンプル」を選択してください。

1 原稿をセットします。

2 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3、6を押します。

3 ←/→ボタンを押して、「ON」、「OFF」または「プリントサンプル」を選びます。
【例】電話予約する「ON」に設定するとき

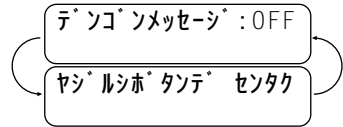
デンワ ヨヤク:ON

● 「プリントサンプル」を選んだときは、セットボタンを押してスタートボタンを押します。

4

セット ボタンを押します。

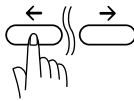
```
ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ:OFF
```

```
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

●伝言メッセージの設定を促す表示になります。

●発信元データを登録しないと「伝言メッセージ機能の設定」ができません。（取扱説明書〈セットアップ編〉39〜41ページ参照）

5

← ／ → ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】伝言メッセージ機能を「ON」に設定するとき

```
ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ:ON
```

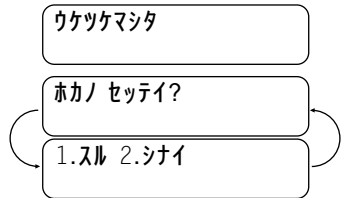
6

セット ボタンを押します。

```
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ
```

```
ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?
```

```
1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ
```

7

他の送信設定をするときは、ダイヤルボタン 1 を押して設定を続けます。他の設定をしないときは、ダイヤルボタン 2 を押して、手順8に進みます。

8

相手先の電話番号をダイヤルします。

9 スタート ボタンを押します。

```
ダ゛イヤル　チュウ　　#01
オンライン
```

```
ソウシン チュウ　　　P01
オンライン
```

```
ヨヒ゛ダ゛シチュウ
オンライン
```

●送信が終了すると相手を呼び出します。

```
シ゛ュワキヲ オトリクダ゛サイ
オンライン
```

●相手が電話に出ると、本機の呼出音が鳴ります。受話器を取って通話します。

手順5で伝言メッセージを「ON」に設定しているときに、相手が電話に出なかったときは、次のような伝言メッセージを相手に送信します。

■伝言メッセージ

発信元に登録してある内容が送信されます。

メ　モ

●相手先のファクシミリに電話予約機能がないと電話予約はできません。
●タイマ送信やポーリング送信のときは、電話予約はできません。
●自動再ダイヤルのときは、電話予約しません。
伝言メッセージONのときは伝言メッセージのみ送信します。
●**発信元データ(ファックス番号、電話番号、名前)をすべて登録しないと「伝言メッセージ機能の設定」ができません**。(取扱説明書<セットアップ編>39、40、41ページ参照)
●伝言メッセージの「TO:　」の名前は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルにあらかじめ登録されていないと、表示されません。

指定した時刻に送信する[タイマ送信]

24時間以内の指定した時刻に、原稿を自動的に送信します。

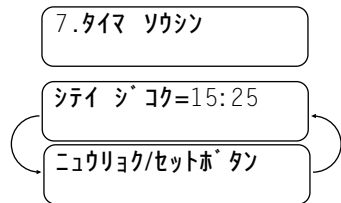
＜タイマ送信予約のしかた＞

1 原稿をセットします。

2 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3、7を押します。

7.ﾀｲﾏ ｿｳｼﾝ

ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=15:25

ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

●送信時刻の入力を促す表示になります。ディスプレイには現在の時刻が表示されています。

3 ダイヤルボタンで送信時刻（24時間制）を入力します。

【例】午後7時45分（19：45）に送信するとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=19:45

4 セットボタンを押します。

1.ｹﾞﾝｺｳ 2.ﾒﾓﾘ

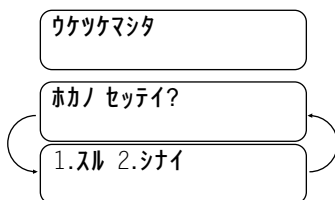
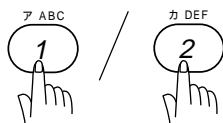
5 ダイヤルボタン[1]または[2]で「ゲンコウ」送信、「メモリ」送信を選びます。

●「ゲンコウ」送信を選んだ場合は、送信時刻になるまで原稿は読み込まれません。原稿挿入口にセットしてある原稿を取らないでください。

6 他の送信設定をするときはダイヤルボタン[1]を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン[2]を押して、手順7に進みます。

ウケツケマシタ

ホカノ セッテイ?

1.スル 2.シナイ

7 相手先の電話番号を入力します。

【例】ダイヤルボタンで入力したとき

052811ΔΔ11
オンライン

8 [スタート]ボタンを押します。

タイマ ソウシン タイキチュウ
オンライン

●送信時刻になると自動的に送信します。
●メモリ送信のときは原稿の読み込みが始まり読み込みが完了すると、時計表示になります。

お願い

●ディスプレイに[タイマ ソウシン タイキチュウ]と表示されているときは、タイマ送信予約がセットしてあります。原稿挿入口にセットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除いてから１分後にタイマ送信予約が解除されます。

メ モ

●タイマ送信が終了すると、自動的にタイマ通信レポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。
●タイマ送信を原稿送信で設定した後、原稿を取り除くと設定が解除され、その後タイマ通信レポートがプリントされ結果の欄にキャンセルとプリントされます。

■タイマ送信待機中に電話をかけるときは

そのまま電話できます。原稿がセットされている場合は原稿を外さずに電話をかけてください。原稿を外すと１分後に予約が解除されます。

■タイマ送信待機中に別の原稿を送信したいときは

71ページの「タイマ送信・ポーリング送信待機中への割り込みのしかた」を参照してください。メモリ送信でタイマ予約されているときには、そのまま送信できます。

■電話やファクスが送信されてきたら

そのまま電話に出てください。ファクスが送られてきたら、スタート ボタンを押してファクスを受信してください。受信モードを電話モード以外に設定しておけば、相手から自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

■タイマ送信予約を解除したいときは

73ページの「通信待ち確認／メモリ送信の解除のしかた」を参照してください。

■プリント例（タイマ通信レポート）

ﾀｲﾏ ﾂｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 99-05-15-15:25

ﾆﾁｼﾞ	05-15 15:24
ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ
ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	00:00:53
ﾍﾟｰｼﾞ	01
	ｿｳﾌｼｮ
ｹｯｶ	OK
ｶﾞｼﾂ	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

同じ原稿を数箇所に送信する[順次同報送信]

同じ原稿を、複数の送信先を設定して1度に送信させることができます。送信先は、あらかじめ登録されているワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・電話帳・グループダイヤルを含む最大174個所まで指定できます。

1 原稿をセットします。

2 ダイヤルボタン、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、電話帳、グループダイヤル(ワンタッチボタンにグループとして登録してあるとき取扱説明書<セットアップ編>59ページ参照)で、送信先を入力します。

- ●ワンタッチボタンで入力するとき(ワンタッチボタンにグループとして登録してあるときも同じ)ワンタッチボタン[01]〜[24]を押す。
- ●短縮ダイヤルから入力するとき
  [キャッチ/短縮]ボタンを押し、ダイヤルボタンで短縮番号00〜99を入力する。
- ●電話帳で検索して入力するとき
  [電話帳]→(相手先名称の最初の一文字を入力)→[←]／[→]→[電話帳]
- ●名前が登録されている場合は名前がディスプレイに表示され、名前が登録されていない場合は電話番号が表示されます。

3 [機能案内/同報送信]ボタンを押します。

機能案内/
同報送信

4 手順2と手順3を繰り返し、送りたい順に各送信先の間に[機能案内/同報送信]ボタンを押します。

5 [スタート]ボタンを押します。

原稿の読み込みを開始します。読み込みが終了すると自動的に指定したすべての相手先に送信を始めます。

すべての送信が終了すると、自動的に同報送信レポートがプリントされ、待機状態に戻ります。

■プリント例

ﾄﾞｳﾎｳ ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 99-05-15-15:25

ﾍﾟｰｼﾞ	01

ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｹｯｶ	ｺﾒﾝﾄ
01-15	15:12	ｽｽﾞｷﾏｺﾄ	44	01	OK	ECM
01-15	15:13	ﾜﾀﾅﾍﾞｽｽﾑ	30	00	ｷｬﾝｾﾙ	
01-15	15:15	ﾋｸﾞﾁﾏﾐ	54	00	ｴﾗｰ	
01-15	15:17	ｱｵｷﾅｵﾔ	43	01	OK	ECM
01-15	15:18	ｺｼﾞﾏﾕｶ	44	01	OK	ECM
01-15	15:20	ﾌｸｼﾏﾐｷﾔ	43	01	OK	ECM
01-15	15:21	ｻｶｲﾔｽｵ	43	01	OK	ECM
01-15	15:23	ﾃﾆｽｽｸｰﾙ	43	01	OK	ECM
01-15	15:24	ﾎﾝｺﾞｳﾀﾞｲｽｹ	44	01	OK	ECM

SO : ｿｳﾌｼｮ

メモ

- 送信先を重複して指定したときは、［スタート］ボタンを押すと自動的に重複している分を削除します。
- 送信先を間違えたときは、［停止］ボタンを押して最初から入力し直してください。

同じ相手にもう一度送信する[再ダイヤル]

このファクシミリは最後にかけた電話番号を記憶しています。再ダイヤル／ポーズボタンで最後にかけた番号にもう一度ダイヤルできます。
ファクスを送信するときの手順は次のとおりです。

1 原稿をセットします。(一度に20枚まで)
原稿の先端を揃え、裏向きにセットします。
●必要に応じて、原稿濃度(50ページ参照)、画質モード(45ページ参照)を設定します。

2 再ダイヤル／ポーズボタンを押します。
ディスプレイで番号を確認します。

受話器を取るか、オンフックボタンを押して再ダイヤルすることもできます。ダイヤルボタンを押すかわりに再ダイヤル／ポーズボタンを押し、相手のファクシミリの「ピー」という受信音が聞こえたらスタートボタンを押すと送信できます。

■自動再ダイヤルについて

自動送信(38ページ参照)でファクスを送信しようとしたが、相手が通話中などで送信できなかったときは自動的に再ダイヤルして送信します(原稿送信のときは、原稿をそのまま置いておいてください)。自動再ダイヤルは30秒間隔で8回繰り返します。

メモ

- ●自動再ダイヤルを8回繰り返しても送信できなかったときは、送信を中止し、送信レポートがプリントされます(103ページ参照)。'ケッカ'の欄が'ハナシチュウ／オウトウナシ'であることを確認し、再度送信し直してください。
- ●自動再ダイヤルは、自動送信時のみはたらく機能です。手動送信時は前ページの手順のように[再ダイヤル／ポーズ]ボタンを押して再ダイヤルします。
- ●自動再ダイヤル解除については、73ページを参照してください。
- ●相手を呼び出し続けても応答がなかった場合、自動再ダイヤルははたらかず送信レポートがプリントされます。再度送信し直してください。

相手の操作で原稿を送信する[ポーリング送信]

受信側のファクシミリからの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を自動的に送信させせることをポーリング通信といいます。
本機が送信側のときはポーリング送信といいます。

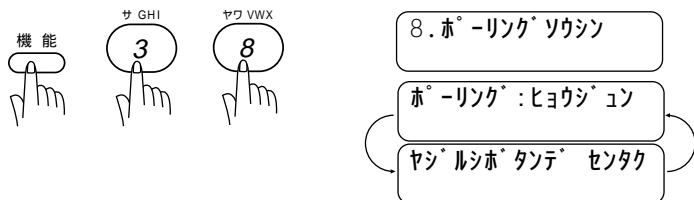
メ　モ　相手先のファクシミリにポーリング機能がないときなどはこの機能が利用できないことがあります。

■ポーリング送信・機密ポーリング送信

通常のポーリング送信と、受信側と送信側が同じ4桁のパスワードを使用してポーリング送信待機中の原稿が第三者に渡らないようにする機密ポーリング送信を行うことができます。

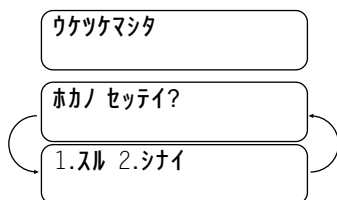
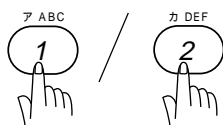
＜ポーリング送信の設定のしかた＞

1 原稿をセットします。

2 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン3、8を押します。

3 ←／→ボタンを押して、「ヒョウジュン」を選びセットボタンを押します。

1.ｹﾞﾝｺｳ 2.ﾒﾓﾘ

4

ダイヤルボタン[1]または[2]で「ゲンコウ」送信、「メモリ」送信を選びます。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

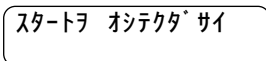
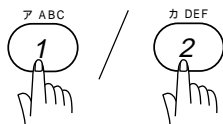
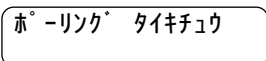
5

他の送信設定をするときはダイヤルボタン[1]を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン[2]を押して、手順7に進みます。

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

6

[スタート]ボタンを押します。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ

●ポーリング送信待機状態になります。
●メモリ送信のときは原稿の読み込みが始まり、読み込みが完了すると、時計表示になります。

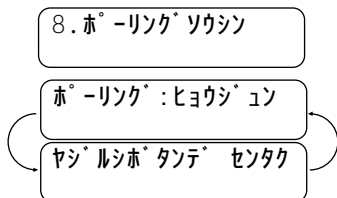
＜機密ポーリング送信の設定のしかた＞

機密ポーリング送信の設定をする前に、受信側と4桁のパスワードを決めます。

1

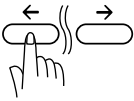
原稿をセットします。

2

[機 能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[3]、[8]を押します。

3

[←]／[→]ボタンを押して、「キミツ」を選びます。

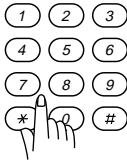
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ

4

[セット]ボタンを押します。

●パスワードの入力を促す表示になります。

5

ダイヤルボタンで4桁のパスワードを入力します。

【例】パスワードが１２３４のとき

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:1234

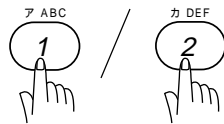
●パスワードを誤って入力したときは[クリア]ボタンを押して入力し直してください。

6

[セット]ボタンを押します。

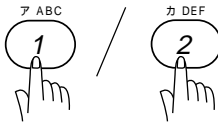
1.ｹﾞﾝｺｳ 2.ﾒﾓﾘ

7

ダイヤルボタン[1]または[2]で「ゲンコウ」送信、「メモリ」送信を選びます。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

ﾎｶﾉ ｾｯﾃｲ?

1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

8 他の送信設定をするときはダイヤルボタン[1]を押して設定を続けます。他の設定をしないときはダイヤルボタン[2]を押して手順10に進みます。

ｽﾀｰﾄｦ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

9 [スタート]ボタンを押します。

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　ﾀｲｷﾁｭｳ

- 機密ポーリング送信待機状態になります。
- メモリ送信のときは原稿の読み込みが始まり、読み込みが完了すると、時計表示になります。

お願い ディスプレイに[ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ　ﾀｲｷﾁｭｳ]と表示されているときは、ポーリング送信がセットしてあります。原稿挿入口にセットしてある原稿を取らないでください。原稿を取り除くと送信時に相手側がエラーになります。

メモ
- ポーリング送信が終了すると、自動的にポーリングレポートがプリントされ、送信結果を知らせてくれます。

■ポーリング送信待機中に電話をかけるときは

そのまま電話できます。原稿がセットされている場合は原稿を外さずに電話をかけてください。

■ポーリング送信待機中に別の原稿を送信あるいはコピーしたいときは

71ページの「タイマ送信・ポーリング送信待機中への割り込みのしかた」を参照してください。メモリ送信でポーリング設定されているときには、そのまま送信できます。

■電話やファクスが送信されてきたら

そのまま電話に出てください。ファクスが送られてきたら、[スタート]ボタンを押してファクスを受信してください。受信モードを電話モード以外に設定しておけば、相手から自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

■ポーリング送信を解除したいときは

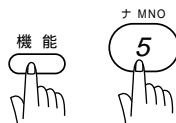
73ページの「通信待ち確認／メモリ送信の解除のしかた」を参照してください。

タイマ送信・ポーリング送信待機中への割り込みのしかた

原稿挿入口に原稿がセットされている状態でタイマ送信（60ページ参照）、ポーリング送信（67ページ参照）の待機中になっていても、それらの設定を解除せずに、別の原稿を送信またはコピーすることができます。

ﾀｲﾏ ｿｳｼﾝ ﾀｲｷﾁｭｳ	：タイマ送信待機中のディスプレイ表示
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ	：ポーリング送信待機中のディスプレイ表示

メモリ送信でタイマ送信・ポーリング送信設定されているときにはそのまま送信またはコピーすることができます。

1 ［機 能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［5］を押します。

5.ﾜﾘｺﾐ

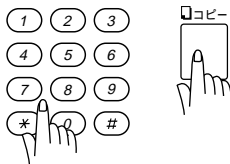
2 ［セット］ボタンを押すか、約２秒間待ちます。

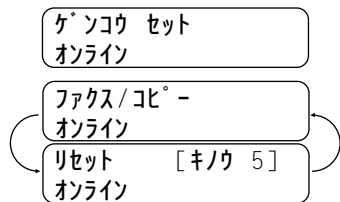
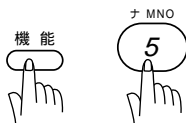
ｹﾞﾝｺｳｦ ｵﾄﾘｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 セットされている原稿を外します。

ｹﾞﾝｺｳ ｾｯﾄ
ｵﾝﾗｲﾝ

4 割り込み送信（またはコピー）する原稿をセットします。

5
相手先の電話番号をダイヤルします。
または コピー ボタンを押します。

6
（ファクス送信のとき） スタート ボタンを押します。

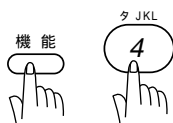
7
コピーまたは送信終了後、元のタイマ送信する原稿または
ポーリング待機中の原稿をセットします。

8
機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 5 を押します。
元の送信待機中の状態に戻ります。

メ モ 割り込みして送信する場合は、相手が通話中などで送信できなかったときでも自動再ダイヤルははたらきません。

通信待ち確認／メモリ送信の解除のしかた

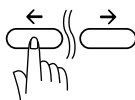
メモリ送信の待ち状況を確認し、メモリ送信、タイマ送信（60ページ参照）、ポーリング送信（67ページ参照）の設定を解除します。

ﾀｲﾏ ｿｳｼﾝ ﾀｲｷﾁｭｳ	：タイマ送信待機中のディスプレイ表示
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ	：ポーリング送信待機中のディスプレイ表示
'99 5/15 15:25	：時刻指定ポーリング待機中やメモリを使ったタイマ送信、ポーリング送信待機中のディスプレイ表示

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 4 を押します。

4.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ

#01 19:45 052811
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

●設定されている待機中の内容がディスプレイに表示されます。
●待機中の設定がないときは、ｾｯﾃｲｶﾞｻﾚﾃｲﾏｾﾝと表示されます。

2 ← ／ → ボタンを押して、解除したい内容を選びます。

19:45 0528115

3 セット ボタンを押します。

#01 19:45 052811
ｶｲｼﾞｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

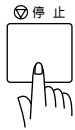
●解除しないときは、ダイヤルボタン 2 を押してください。

4 ダイヤルボタン[1]を押して、「1．スル」を選びます。

ディスプレイに表示されていた内容が解除されます。設定が他にもあるときは続けて解除できます。

ウケツケマシタ

5 [停 止]ボタンを押します。

設定の解除が終了します。

4章

コピーをする

コピーをする

原稿を原稿挿入口にセットしてコピーします。一度に20枚までセットできます。
受話器を置いたままで操作します。

●特に濃かったり薄い文字の原稿をコピーするときは、原稿濃度を変更してからコピーしてください。（50ページ参照）
●写真やカラーの原稿をコピーするときは、画質モードを変更してからコピーしてください。（45ページ参照）

＜1部だけコピーしたいとき＝シングルコピー＞

1 原稿をセットします。

```
ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

```
ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

2 [コピー]ボタンを押します。

```
ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ:01
ｵﾝﾗｲﾝ
```

```
ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ
```

3 [コピー]ボタンを押します。
コピーを開始します。

```
ｺﾋﾟｰ ﾁｭｳ     P.01
ｵﾝﾗｲﾝ
```

●[コピー]ボタンを押さずにそのまま5秒間待つと、自動的にセットされ、コピーを開始します。

■コピー中に電話がかかってきたら

呼出音が鳴りますので受話器を取ると通話できます。

■途中で止めるときは

まだ繰り込まれていない原稿を取り、［停止］ボタンを押します。原稿が繰り込まれているときは［ﾃｲｼ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ］と表示されますので再び［停止］ボタンを押してください。自動的に排出されます。

メモ

- ●原稿の端から４mm以内の部分はコピーできません。コピーできる範囲は34ページの「原稿の読み取り範囲」を参照してください。
- ●コピー中に原稿を引っ張らないでください。コピーが上手くとれなくなります。
- ●原稿は真っすぐに正しくセットしてください。斜めにコピーされたり、原稿づまりを起こすおそれがあります。
- ●コピー中は電話を受けることはできますが、かけることはできません。
- ●電話中にコピーをすることはできます。

コピー禁止 !!

法律によりコピーが禁じられているものがあります。以下のようなもののコピーには注意してください。

●法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

・紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券

・外国で流通する紙幣、貨幣、証券類

・未使用の郵便切手や官製ハガキ

・政府発行の印紙および酒税法や物品税法で規定されている証券類

●著作権のあるもの

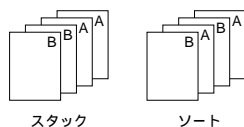
・著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁止されています。

●その他の注意を要するもの

・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券

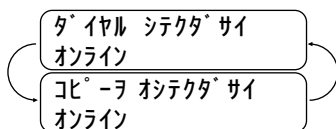
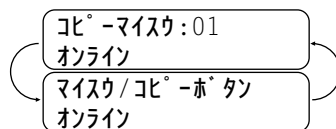
・政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

<複数部コピーしたいとき＝マルチコピー>

複数部コピーするときは、スタックとソートの2とおり方法があります。

●スタックは1ページ目のコピーをn枚、2ページ目のコピーをn枚というように全部を順番に積み重ねていきます。

●ソートはページ順にコピーする方法で、本機がすべての原稿を読み取ってから、1、2、3、4…ページのコピーを順番に1部ずつコピーし、次に1、2、3、4…ページの2組目のコピーを取り、全部でn組のコピーができるまでこれを繰り返します。

■スタックコピーのしかた

1 原稿をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

2 コピーボタンを押します。

ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ:01
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ダイヤルボタンでコピー部数を入力します。

【例】コピー部数が５部のとき

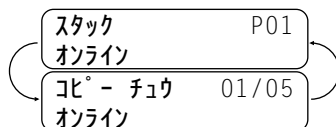
1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ:05
ｵﾝﾗｲﾝ

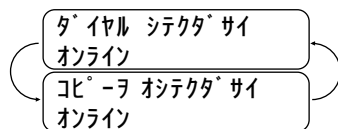
●コピー部数は99部まで設定できます。
●コピー部数を間違えたときは停止ボタンを押して入力し直します。
●コピー部数を入力せずに５秒たつと自動的にシングルコピーを始めます。

4 コピーボタンを押します。

原稿が繰り込まれ、コピーを開始します。

ｽﾀｯｸ　　　　P01
ｵﾝﾗｲﾝ

ｺﾋﾟｰ ﾁｭｳ　　01/05
ｵﾝﾗｲﾝ

■ソートコピーのしかた

1 原稿をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

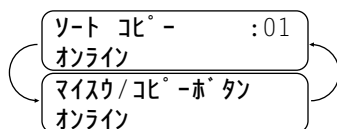
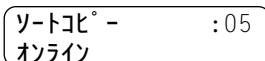
2 ソート ボタンを押します。

ｿｰﾄ ｺﾋﾟｰ :01
ｵﾝﾗｲﾝ

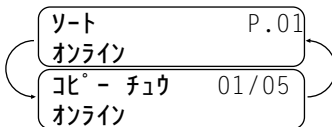
ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ダイヤルボタンでコピー部数を入力します。

【例】コピー部数が５部のとき

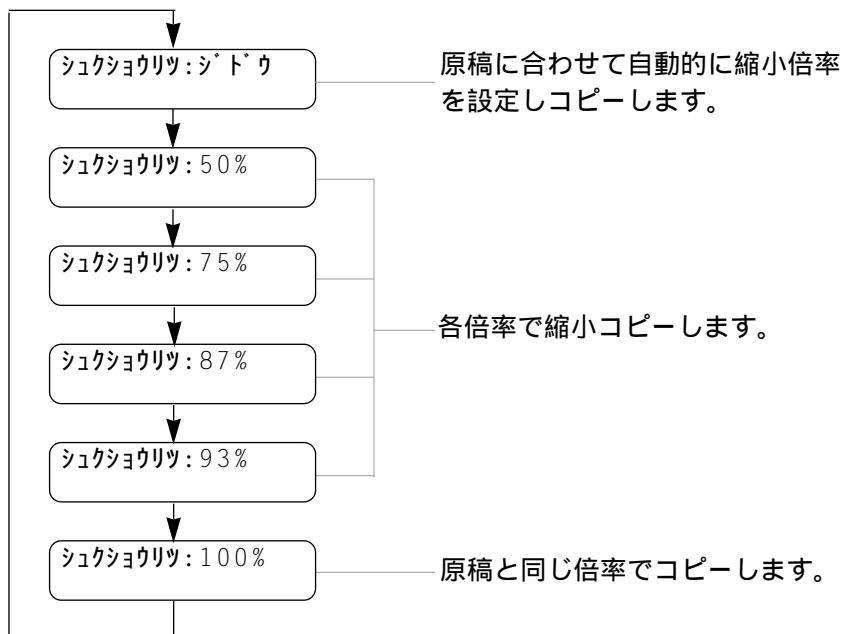
ｿｰﾄｺﾋﾟｰ :05
ｵﾝﾗｲﾝ

●コピー部数は99部まで設定できます。
●コピー部数を間違えたときは 停止 ボタンを押して手順2からやり直します。
●コピー部数を入力せずに5秒たつと自動的に1部のみのコピーを始めます。

4 コピー ボタンを押します。

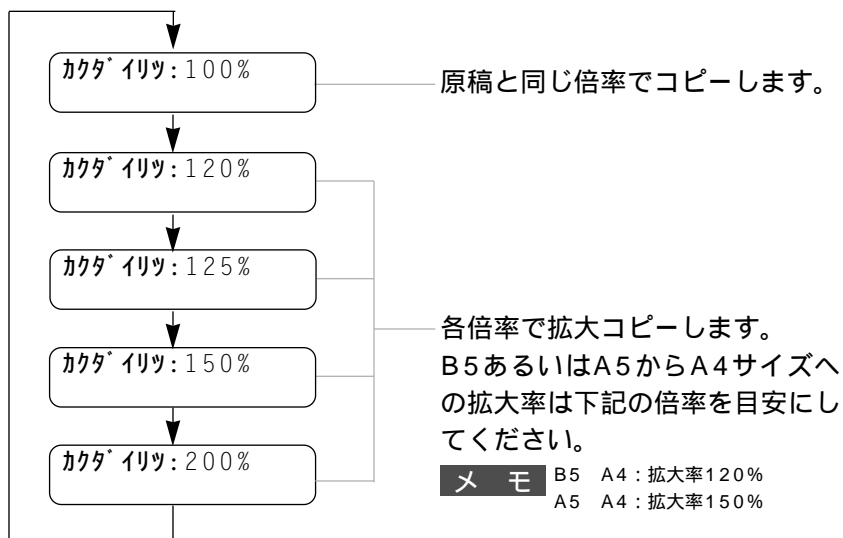
原稿が繰り込まれ、コピーを開始します。

メ　モ

●複数部コピーするときにページごとに異なる画質モードでコピーすることができます。（46ページの「ページごとに画質モードを設定する」を参照してください）
●１枚の原稿がメモリに入りきらないときは、マルチコピーはできません。シングルコピーを繰り返してください。
●原稿を読み込み途中でメモリがいっぱいになったときは、一度 コピー ボタンを押してください。読み込まれた原稿までコピーします。残りの原稿はもう一度コピーし直してください。
●コピー中は送信および受信に関わる動作はできません。また通信中はコピーできません。
●コピー中に記録紙がなくなったときは、それ以降のコピーは無効になります。記録紙をセットし、あらためてコピー操作を行ってください。

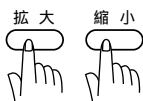
<縮小コピーしたいとき>

倍率を変えてコピーできます。倍率は「ジドウ」「１００％」「１２０％」「１２５％」「１５０％」「２００％」「５０％」「７５％」「８７％」「９３％」に設定することができます。

<拡大コピーしたいとき>

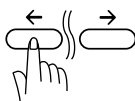
1 原稿をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

2 拡大 または 縮小 ボタンを押します。

ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ:ｼﾞﾄﾞｳ
ｵﾝﾗｲﾝ

←→/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ← ／ → ボタンを押して、コピーの倍率を選びます。

【例】「９３%」に設定するとき

ｼｭｸｼｮｳﾘﾂ:93%
ｵﾝﾗｲﾝ

4 コピー ボタンを押します。

ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ:01
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

●複数部コピーしたいときは、78ページの「複数部コピーしたいとき」の手順3に進みます。

5 コピー ボタンを押します。

コピーを開始します。

ｺﾋﾟｰ ﾁｭｳ　　P.01
ｵﾝﾗｲﾝ

<写真をコピーしたいとき>

写真をコピーするときは[写 真]ボタンを押します。

1 原稿をセットします。

ﾀﾞｲﾔﾙ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

ｺﾋﾟｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
ｵﾝﾗｲﾝ

2 [写 真]ボタンを押します。

ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ:01
ｵﾝﾗｲﾝ

ﾏｲｽｳ/ｺﾋﾟｰﾎﾞﾀﾝ
ｵﾝﾗｲﾝ

3 ダイヤルボタンでコピー部数を入力します。

【例】コピー部数が５部のとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
* 0 #

ｺﾋﾟｰﾏｲｽｳ:05
ｵﾝﾗｲﾝ

- ●コピー部数は９９部まで設定できます。
- ●コピー部数を間違えたときは[停 止]ボタンを押して手順1からやり直します。
- ●コピー部数を入力せずに5秒たつと自動的にシングルコピーを始めます。

4 [コピー]ボタンを押します。

ｽﾀｯｸ P01
ｵﾝﾗｲﾝ

ｺﾋﾟｰﾁｭｳ 01/05
ｵﾝﾗｲﾝ

メ モ 画質モードについて

●原稿がセットされていないときに[画 質]ボタンを押すことはできません。

●「Ｓ．ファイン」モードで写真やカラー原稿をコピーすると、配色などによっては部分的にコピーできなかったり、黒くコピーされることがあります。その場合は、「写真」でもう一度コピーし直してください。

5章

応用機能

電話呼び出し機能とファクス転送を設定する

本機はメモリ受信（９０ページ参照）をＯＮに設定し、受信したＦＡＸをメモリに蓄積することができます。ファクスメッセージがメモリに記憶されると、それを外出先の電話に知らせる(電話呼び出し機能)か、またはファクスメッセージを転送(ファクス転送)することができます。

＜電話呼び出し機能とファクス転送について＞

●電話呼び出し機能がどのようにはたらくか

ファクスを受信します。

ファクスメッセージをメモリに記憶します。

登録した呼び出し先の電話番号にダイヤルします。

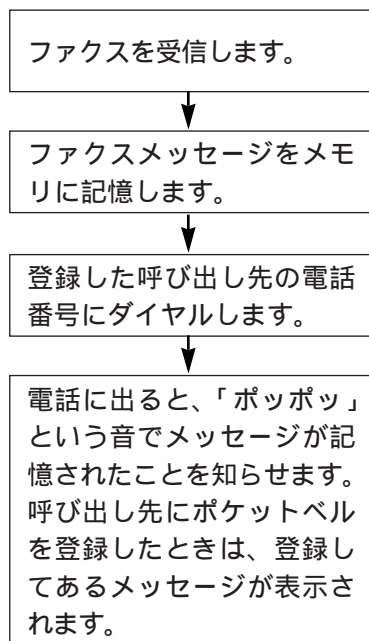
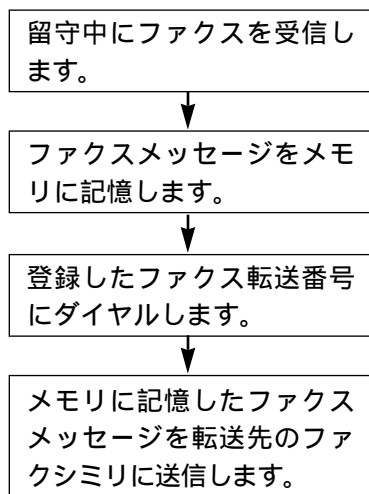
電話に出ると、「ポッポッ」という音でメッセージが記憶されたことを知らせます。呼び出し先にポケットベルを登録したときは、登録してあるメッセージが表示されます。

●ファクス転送がどのようにはたらくか

留守中にファクスを受信します。

ファクスメッセージをメモリに記憶します。

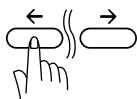
登録したファクス転送番号にダイヤルします。

メモリに記憶したファクスメッセージを転送先のファクシミリに送信します。

＜ファクス転送の設定と転送先番号を登録する＞

ファクス転送をはたらかせたい場合は、下記の手順で「ファクス テンソウ」を選び、転送先番号を登録してください。その後、留守録メモリにファクスメッセージが記憶されると自動的にファクス転送を始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 、 1 を押します。

2

← ／ → ボタンを押して、「ファクス　テンソウ」を選びます。

ファクス テンソウ

●「OFF」に設定したときは手順5に進みます。

3

セット ボタンを押します。

ファクス テンソウ ＃：

ニュウリョク/セットボ゛タン

4

ダイヤルボタンを押して転送先番号を入力します。

テンソウ ＃：052824△△5

●転送先と市外局番が異なるときは、市外局番も入力します。
●最大20桁まで入力できます。

5 セットボタンを押します。

6 停止ボタンを押します。

設定と登録が終了します。

お願い

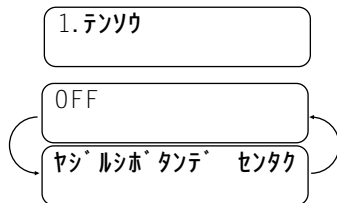
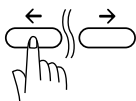
●電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。
●ファクス転送先の電話番号は外出先から変更することができます。(96ページ参照)
●電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は外出先から変更することはできません。

メモ

●ファクス転送が終了すると、メモリに蓄積されたファクスは自動的に消去されます。
●送付書送信の設定（48ページ参照）が「送付書を付加する（ON)」に設定されていても、ファクス転送時は送付書は付加されません。
●メモリにファクスを受信後、ファクス転送の設定を「ON」にしてもファクスは転送されません。

＜電話呼び出し機能の設定と呼び出し先電話番号を登録する＞

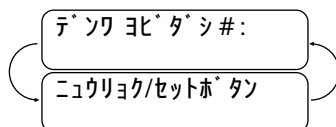
電話呼び出し機能をはたらかせたい場合は、下記の手順で「デンワ ヨビダシ」を選び、呼び出し先番号を登録してください。その後、メモリにファクスメッセージが記憶されると自動的に電話呼び出しを始めます。お買い上げ時は「OFF」になっています。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン8、1を押します。

2 ←／→ボタンを押して、「デンワ　ヨビダシ」を選びます。

テ゛ンワ ヨヒ゛ダ゛シ

● 「OFF」に設定したときは手順5に進みます。

3 セットボタンを押します。

テ゛ンワ ヨヒ゛ダ゛シ#:

ニュウリョク/セットホ゛タン

4 呼び出し先の電話番号を入力します。

【例】転送番号が1234567のとき

```
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ#:1234567_
```

呼び出し先番号にポケットベルの番号を登録するときは下記の順で、表示させるメッセージを登録することができます。

（1）再ダイヤル/ポーズ ボタンを4回押します。

```
ﾞｼ#:1234567----_
```

●ダイヤル回線をお使いの方は、手順4で呼び出し先の電話番号を入力後、トーン信号に切り換えるために、ダイヤルボタン＊を入力してください。

（2）ポケットベルに表示させるメッセージ番号を入力します。

【例】メッセージ番号が1234のとき

```
1234567----1234_
```

●番号を間違えたときは、←／→ボタンを押してカーソルを移動し、入れ直します。

（3）ダイヤルボタン#を2回押します

```
34567----1234##_
```

5 セット ボタンを押します。

```
1.ﾃﾝｿｳ
```

6 停 止 ボタンを押します

設定と登録が終了します。

お願い

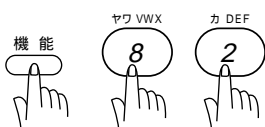
●電話呼び出し機能とファクス転送を同時に使用することはできません。
●電話呼び出し機能の呼び出し先電話番号は外出先から変更することはできません。

メモ

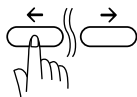
- 電話呼び出し機能を設定したときは、登録しておいた電話番号にダイヤルしてメッセージを受けたことを知らせます。外出先のファクスからリモコンアクセスコードを使用してファクスメッセージを取り出すことができます（95ページ参照）。電話番号にポケットベルや携帯電話の番号を登録することもできます。
- 手順4では合計30桁まで登録できます。
- メッセージの登録方法は、ポケットベルの会社によって異なりますので、ポケットベルのお求め先にご相談ください。

メモリ受信を設定する

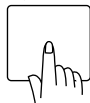
メモリ受信する（ON）に設定すると、受信したファクスをメモリに蓄積すると共にプリントアウトします。また、電話呼び出し機能・ファクス転送機能・リモコンアクセスが使用できます。（84ページの「電話呼び出し機能とファクス転送を設定する」92ページの「外出先からファクスを取り出す［リモコンアクセス設定］」を参照にしてください。）
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 、 2 を押します。

2 ← ／ → ボタンで、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】「ON」に設定するとき

メモリ ジュシン:ON

3 セット ボタンを押します。

4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。

メ　モ

- ●メモリ受信は最大60件までできます（ただしメモリ残量によります）。
- ●メモリ受信したファクスが蓄積されているときに「メモリ受信しない（OFF）」に設定すると［ﾌｧｸｽｼｮｳｷｮ?］と［ｼｮｳｷｮ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ］が交互に表示されます。ダイヤルボタン［1］を押すとまだ一度もプリントされていないファクスメッセージがすべてプリントされた後、メモリから内容が消去されます。
- ●記録紙がないとき、メモリ受信の設定が「メモリ受信しない（OFF）」に設定されていても、メモリ代行受信を行います。
- ●メモリ受信を「ON」に設定してもメモリ受信ができなくなったときは、受信用メモリがいっぱいです。メモリ受信の設定を「メモリ受信しない（OFF）」に設定して、メモリからファクスメッセージを消去してください。

外出先からファクスを取り出す[リモコンアクセス設定]

外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またトーン(PB)信号が送出できるファクシミリを使い、リモコンアクセスコードやリモコンアクセスコマンドを入力することにより、外出先から本機をリモートコントロールして、ファクス転送などの操作を行うことができます。

メ　モ

●リモコンアクセスコードは、外出先から本機をリモートコントロールさせるための番号です。
●リモコンアクセスコードは、お買い上げ時は「159＊」に設定されていますが、自分専用の番号に変更することにより、本機への接続相手を限定することができます。変更のしかたは、98ページの「リモコンアクセスコードの設定のしかた」を参照してください。
●リモコンアクセスコードを使用するときは、3桁の数字と[＊]を押してください。
●リモコンアクセスコマンドは、いろいろな操作を指示するための番号です。
●メモリ受信されたファクスメッセージをリモコンアクセスで取り出したいときは、転送の設定をファクス転送にしないでください。（85、86ページ参照）
●トーン信号を送出できない電話機からのリモコンアクセスはできません。

＜基本的なリモコンアクセスのしかた＞

1 外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またはトーン(PB)信号が送出できるファクシミリから本機の電話番号にダイヤルします。

2 本機が応答し、約4秒間無音状態になりますので、その間にリモコンアクセスコードをダイヤルボタンで入力します。

3 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がメッセージを受信し、メモリに蓄積していることを示します。

「ポー」(1回)　：ファクスメッセージを蓄積しています。

メモリに蓄積されていないときは「ポー」という音はしないので、そのまま手順4に進みます。

4 次に短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえます。この間に、リモコンアクセスコマンド(94ページ参照)をダイヤルボタンで入力します。

- 「ピピッ」という応答音が聞こえてこないときは、繰り返しリモコンアクセスコードを入力してください。回線状態などによりリモコンアクセスコードを受けられないことがあります。
- 1つのコマンドの入力が終了したら、短い「ピピッ」という応答音が続けて聞こえる間に、次のコマンドを入力することができます。

5 リモコンアクセスを終了するときは、ダイヤルボタンで 9 、 0 を入力します。

メ モ

- 間違った操作を行ったときや正しい設定・変更ができなかったときには、短い「ピピピッ」という応答音が聞こえます。(正しく設定できたときは少し長い「ピー」という応答音が1回聞こえます)
- 「ピピッ」という音が続けて聞こえているときに、何もコマンドを入力せずに30秒以上経過すると、リモコンアクセスが終了します。

メ モ **リモコンアクセスコードをいつ入力するのか**

●通常モードのとき
本機が応答すると、メッセージが流れる前に約4秒間無音状態がありますので、この間に入力してください。

●外付留守電モードのとき
外付留守番電話が応答した後、応答メッセージが聞こえてくる前の無音状態の時に入力してください（外付の留守番電話に応答メッセージを録音する際にあらかじめ4〜5秒くらい無音状態を入れておいてください)。

●FAX専用モードのとき
本機が応答すると約4秒間無音状態になりますので、この間に入力してください。

●電話モード
呼出ベルが約40回鳴るまで待った後約30秒無音状態になりますので、この間に入力してください。

■リモコンアクセスコマンド

リモコンアクセスコマンドを入力することにより、本機を下記のようにリモートコントロールすることができます。外出先ではリモコンアクセスカード（本文最終ページ）を切り取ってお使いください。

機　　　能	コマンド
電話呼び出し、ファクス転送の設定をOFFにします。	951
ファクス転送に設定します。（番号未登録時は設定できません。）	952
電話呼び出しに設定します。（番号未登録時は設定できません。）	953
ファクス転送番号の登録や変更をします。転送番号を登録した後、# を2回入力します。転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定がＯＮになります。	954
メモリ受信をONに設定します。	956
メモリ受信をOFFに設定します。	957
メモリ使用状況リストを取り出します。次ページの方法を参照してください。	961
メモリが記憶したファクスメッセージを取り出します。下記の方法を参照してください。	962
メモリが記憶したファクスメッセージを消去します。	963
ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。	971
受信モードを「外付留守電モード」に変更します。	981
受信モードを「通常モード」に変更します。	982
受信モードを「FAX専用」モードに変更します。	983
リモコンアクセスを終了します。	90

メ　モ ●外出先から留守応答メッセージを録音し、そのメッセージを留守応答メッセージとして設定する場合は、録音した後に再生してください。

<リモコンアクセスの具体的な操作例>

1.外出先からファクスを取り出すとき

1 外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またはトーン(PB)信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2 本機の電話番号をダイヤルします。

3 本機が応答したら、[1][5][9][＊](リモコンアクセスコード)を入力します。

4 「ポー」という応答音が聞こえたら、本機がファクスを受信し、メモリに記憶していることを示しています。

5 取り出したいファクスメッセージが記憶されているときは、「ピピッ」という音が鳴り終わったときに、[9][6][2]を入力します。

6 続けて外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に[#]を2回押します。

7 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。

8 本機からファクスが転送されます。

2.外出先からファクス転送番号を変更したいとき

1 外出先のプッシュ(PB)回線に接続されている、またはトーン(PB)信号が送出できるファクシミリの受話器を取ります。

2 本機の電話番号をダイヤルします。

3 本機が応答したら、[1][5][9][＊](リモコンアクセスコード)を入力します。

4 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、[9][5][4]を入力します。

5 新しい転送番号をダイヤルボタンで入力します。
転送番号は最大20桁まで入力できます。

6 新しい転送番号の入力が終わったら、[#]を押します。

7 「ピピッ」という音が続けて聞こえている間に、[9][6][1]を入力します。

8 続けて外出先の今使用しているファクシミリのファクス番号を入力し、最後に[#]を2回押します。

お願い

- ＊や#は転送番号として登録することはできません。転送番号の間にポーズを入れたいときには、[#]を1回押します。[#]を2回押すと転送番号の入力終了を表します。
- 受話器を持ったままにしていても、操作しているファクシミリによって回線が切れることがありますので、その場合はもう一度かけ直した後、手順3の操作を行ってください。

9 「ピー」という応答音が聞こえたら、受話器を置きます。

10 本機からメモリ使用状況リスト（110ページ参照）が転送されます。リストを見て、新しい転送番号が正しく入力されているか確認します。

11 転送番号が間違っているときは、最初からやり直します。転送番号が正しければ、本機はファクス転送を行う準備が整っています。
転送番号を登録すると、自動的にファクス転送がONになります。

＜リモコンアクセスコードの設定のしかた＞

外出先から本機をリモートコントロールするリモコンアクセスコード（3桁の数字と＊）を設定します。お買い上げ時は「159＊」に設定されています。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 8 、 3 を押します。

3.リモコン セッテイ

2 ダイヤルボタンで新しいリモコンアクセスコードを入力します。

【例】「160＊」に設定するとき

リモコン コード:159＊

リモコン コード:160＊

3 セット ボタンを押します。

4 停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。

メ モ ●リモコンアクセスコードは「3桁の数字」を入力してください。4桁目の＊は変えることができません。また、01＊、02＊などは設定できません。

ファクス出力のしかた

メモリ受信の設定がONに設定されているときに、メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスをプリントアウトすると共に、メモリから消去します。

1 機 能ボタンを押し、ダイヤルボタン8、4を押します。

4.ﾌｧｸｽ ｼｭﾂﾘｮｸ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 スタートボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停 止ボタンを押します。

メ モ ●メモリに何も蓄積されていないとディスプレイに ﾃﾞｰﾀｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ と表示されますので停止ボタンを押してください。

6章

レポート・リストについて

各種のレポートとリスト

＜レポートとリストの種類＞

■操作することによりプリントされるレポート・リスト

手順③の操作	プリント内容
①送信レポート 1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信後に送信結果をプリントします。お買い上げ時はOFFに設定してあります。
②通信管理レポート 2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	送信・受信した最新の合計50通信分の結果をプリントします。
③ダイヤルリスト 3.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ	ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルに登録された内容をプリントします。
④電話帳リスト 4.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ	ダイヤルリストを50音順・アルファベット順にプリントします。
⑤設定内容 5.ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ﾘｽﾄ	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。
⑥メモリ使用状況リスト 6.ﾒﾓﾘ ｼﾖｳｼﾞｮｳｷｮｳ	使用されているメモリ量などメモリの使用状況をプリントします。

※手順①～②は取扱説明書〈セットアップ編〉22～31ページを参照してください。

■自動的にプリントされるレポート

●タイマ通信レポート
タイマ通信が終了するとプリントされます。
●ポーリングレポート
ポーリング送信が終了するとプリントされます。
●同報送信レポート
順次同報送信が終了するとプリントされます。

お願い 電源を抜いて数時間たつと通信管理レポートの内容が消去されてしまうことがあります。ご注意ください。

送信レポートをプリントする

ファクス送信後に送信レポートをプリントするかしないかを設定します。

お買い上げ時は、プリントしない「OFF」に設定されています。

「ON」：送信後に毎回自動的にプリントします。

「OFF」：通信エラーが発生したときや上手く送信できなかったときに、自動的にプリントします。

1

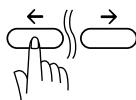
機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 7 、 1 を押します。

1.ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ:OFF

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

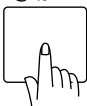
2

← ／ → ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】プリントする「ON」に設定するとき

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ:ON

3

セット ボタンを押します。

4

停 止 ボタンを押します。

設定が終了します。

■プリント例

ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 99-05-15-15:25

ﾆﾁｼﾞ	05-15 15:24
ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ
ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	00:01:49
ﾍﾟｰｼﾞ	03
	ｿｳﾌｼｮ
ｹｯｶ	OK
ｶﾞｼﾂ	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
	ECM

最新の通信結果を確認する[通信管理レポート]

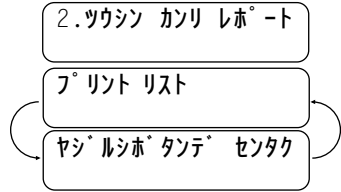
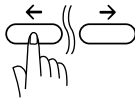
送信・受信した最新の合計50通話分の通信結果をプリントします。通信管理レポートの出力間隔は好みの間隔に設定できます。プリントしないに設定したときは、必要なときに下記の手順2で「プリントリスト」を選ぶとすぐにプリントすることができます。

＜通信管理レポートの出力間隔の設定のしかた＞

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 7 、 2 を押します。

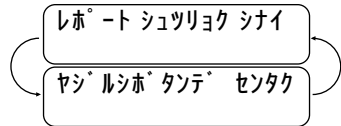
```
2.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ
```

```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾘｽﾄ
```

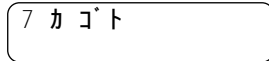
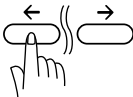
```
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

2 ← ／ → ボタンを押して､「シュツリョク カンカク」を選びます。

●すぐに通信管理レポートをプリントするときは、「プリントリスト」を選び、 セット ボタンを押して スタート ボタンを押します。

3 セット ボタンを押します。

```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ ｼﾅｲ
```

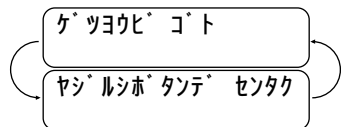
```
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

4 ← ／ → ボタンを押して、通信管理レポートを出力する間隔を選びます。

【例】プリント間隔を７日ごとに設定するとき

```
7 ｶ ｺﾞﾄ
```

●「７日ごと」以外に設定したときは、手順7に移ります。
●定期的にレポートを出力しない（「レポート シュツリョク シナイ」）に設定したときは、手順9に移ります。

5 セット ボタンを押します。

```
ｹﾞﾂﾖｳﾋﾞ ｺﾞﾄ
```

```
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ
```

6

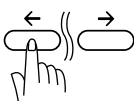
[←]／[→]ボタンを押して、曜日を選びます。

【例】土曜日ごとに設定するとき

ﾄﾞﾖｳﾋﾞ　ｺﾞﾄ

7

[セット]ボタンを押します。

ｶｲｼ　ｼﾞｶﾝ:00:00

ﾆｭｳﾘｮｸ / ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

8

ダイヤルボタンで開始時間を入力します。

【例】午後７時45分（19：45）に設定するとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｶｲｼ　ｼﾞｶﾝ:19:45

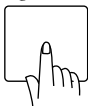
●「プリントしない」以外に設定したときは、開始時間を基準にしてプリントします。

9

[セット]ボタンを押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

10

[停 止]ボタンを押します。

■プリント例

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

ｼﾞｺｸ : 99-05-15-15:25

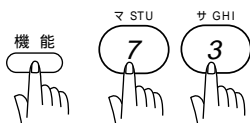
No.	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ　ﾒｲｼｮｳ	ﾂｳｼﾝ　ｼﾞｶﾝ	ﾍﾟｰｼﾞ	ｹｯｶ	ｺﾒﾝﾄ
#01	05-15	12:04	ﾀﾅｶ ﾖｳｺ	24	01	OK	TX ECM
#02	05-15	12:07	ｲﾉｳｴ ﾀﾂﾔ	24	01	OK	TX ECM
#03	05-15	12:26	ｻｶｲ ﾋﾃﾞｵ	24	01	OK	TX ECM
#04	05-15	12:27	ｲﾄｳ ｻﾄｺ	24	01	OK	TX ECM
#05	05-15	12:31	ｽｽﾞｷ ｴｲｲﾁ	24	01	OK	TX POL ECM
#06	05-15	13:45	ﾀﾅｶ ﾏｺﾄ	27	01	OK	TX ECM
#07	05-15	13:47	ｶﾄｳ ﾏﾘｺ	25	01	OK	TX ECM
#08	05-15	13:55	ﾀﾅｶ ｲﾁﾛｳ	25	01	OK	TX ECM
#09	05-15	14:52	ｻﾄｳ ｺｳｼﾞ	25	01	OK	TX ECM

SO : ｿｳﾌｼｮ
ME : ﾃﾞﾝｺﾞﾝﾒｯｾｰｼﾞ
POL : ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ
RET : ﾘﾄﾘｰﾊﾞﾙ
TX : ｿｳｼﾝ
RX : ｼﾞｭｼﾝ

メ　モ プリント間隔は、プリントしない／６時間ごと／12時間ごと／24時間ごと／２日ごと／４日ごと／７日ごとに設定することができます。お買い上げ時の設定はプリントしない「レポート シュツリョク　シナイ」です。

ダイヤル登録を確認する[ダイヤルリスト]

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤルに登録された内容をプリントします。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 7 、 3 を押します。

3.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 スタート ボタンを押します。

◇ スタート

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、 停 止 ボタンを押します。

■プリント例

ﾀﾞｲﾔﾙ ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ : 99-09-09-16:05

ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

ﾊﾞﾝｺﾞｳ	FAX/TEL ﾊﾞﾝｺﾞｳ		ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
#01	0798 52 △△△△	TEL	ﾔﾏﾓﾄ ﾀﾂﾔ	
#02	03 3877 XXXX	FAX	ﾏﾁｺ	
#03	001 1 31489787△△	FAX	ｼﾞｮﾝ	
#04	052 731 △△△△	FAX	ﾔｽｿﾞｳ	G1
#05	0566 22 △△△△	TEL	ﾄｶﾞﾜｻﾝ	
#06	＊＊＊ｸﾞﾙｰﾌﾟ1＊＊＊		BROTHER	

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ

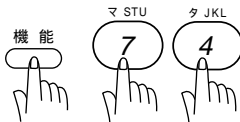
ﾊﾞﾝｺﾞｳ	FAX/TEL ﾊﾞﾝｺﾞｳ		ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
＊01	058 △△△ 1111	F/T	ﾘｰﾀﾞｰ	G1
＊02	06 741 XX23	F/T	ﾅｶﾞｲ	
＊03	0792 71 53△△	FAX	ﾆｼﾓﾘ ｾﾝｾｲ	
＊04	045 811 3252	F/T	ｾﾝﾊﾟｲ	
＊05				
＊06	03 123 98△△	FAX	ｶｲｼｬ	G2 G3 G4 G5 G6
＊07	052 700 43△△	FAX	ｴｲｷﾞｮｳｼｮ	
＊08				
＊09				
＊10				
:				
＊76	052 800 01△△	TEL	ﾀﾀﾞ ﾏｻﾋｺ	
＊77	052 900 23△△	TEL	ｵｸﾑﾗ ｶｽﾞﾏ	
＊78				
＊79				
＊80				

ダイヤルリストを50音順にプリントする[電話帳リスト]

ダイヤルリストを50音順・アルファベット順にプリントします。

メ　モ　●相手先名称の登録されていないワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルやグループダイヤルは、アイテサキメイショウの欄が空欄になり、リストの最後にプリントされます。

1

[機 能]ボタンを押し、ダイヤルボタン[7]、[4]を押します。

4.ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ

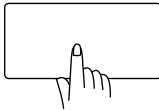
ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2

[スタート]ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3

プリント終了後、[停 止]ボタンを押します。

■プリント例

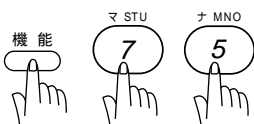
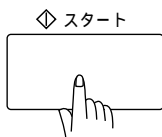
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ : 99-05-01-03:15

ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	ﾊﾞﾝｺﾞｳ	FAX/TEL ﾊﾞﾝｺﾞｳ		ｸﾞﾙｰﾌﾟ
ｺｼﾞﾏ ﾏﾕｶ	＃02	03 △△27 8211	TEL	
ｽｷﾞﾔﾏ ﾏｻｵ	＊01	0566 △△ 1119	FAX	G1
ｽｽﾞｷ ﾏｺﾄ	＃01	＊＊＊ｸﾞﾙｰﾌﾟ 1＊＊＊	F/T	
ﾀﾅｶ ﾖｳｺ	＃04	052 825 △△11	FAX	G1
ﾋｸﾞﾁ ﾏﾐ	＃03	03 △△27 8290	FAX	G1
	＊07	045 △△△ 5231	TEL	

登録・設定状況を確認する[設定内容リスト]

各種機能に登録・設定されている内容を確認するときにプリントします。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン7、5を押します。

2 スタートボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、停止ボタンを押します。

■プリント例

ｾｯﾃｲ ﾅｲﾖｳ ﾘｽﾄ

ｼﾞｺｸ : 00-12-23-13:31

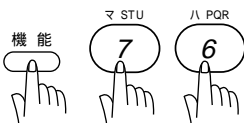
ｶｲｾﾝ ｼｭﾍﾞﾂ	:	PB
ﾆﾁｼﾞ		
ﾋﾂﾞｹ	:	00-12-23
ｼﾞｺｸ	:	13:31
ｷｰﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ	:	ｼｮｳ
ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	:	00 ﾌﾝ
ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ	:	04 ｶｲ
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ	:	10 ｶｲ
ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ	:	OFF
ﾘﾓｰﾄ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	:	OFF
ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ	:	ON
ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ	:	ﾚﾍﾞﾙ 3
ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ	:	OFF
PC ｾﾂｿﾞｸ	:	ON
ｿｳﾌｼｮ	:	OFF
ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ		
5	:	
6	:	
ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ	:	OFF
ｿｳｼﾝ ﾚﾎﾟｰﾄ	:	OFF
ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸ ｶﾝｶｸ	:	OFF
ｶｲｼ ｼﾞｶﾝ	:	00:00
ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ	:	OFF
ﾘﾓｺﾝ ｾｯﾃｲ	:	159＊

0% 100%

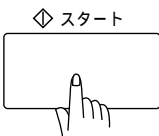
ﾄﾞﾗﾑﾗｲﾌ 0000000000000000

メモリ使用状況リストをプリントする[メモリ使用状況リスト]

メモリ使用状況リストはメモリ送信、タイマ送信・ポーリング送信待機中などで使用されているメモリ量と使用可能なメモリがパーセントで表示されます。また、メモリ受信したファクスメッセージの総数が確認できます。

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 7 、 6 を押します。

6.ﾒﾓﾘ ｼｮｳｼﾞｮｳｷｮｳ

ｽﾀｰﾄｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ

2 スタート ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

●プリントを開始します。

3 プリント終了後、 停 止 ボタンを押します。

■プリント例

ﾒﾓﾘ ｼｮｳｼﾞｮｳｷｮｳ ﾘｽﾄ　ｼﾞｺｸ : 99-05-15-15:25

ﾄﾘﾀﾞｼ ｶﾉｳ ﾌｧｸｽ

	ﾋﾂﾞｹ	ｼﾞｺｸ	ｿｳｼﾝ ﾓﾄ	
ﾌｧｸｽ 01	: 98-01-15	09:30	03 3274 △△11	
ﾌｧｸｽ 02	: 98-01-15	09:31	052 263 58△△	
				05%

①

ﾒﾓﾘ ｼﾖｳ ﾌｧｸｽ

	ｼﾞｺｸ	ｱｲﾃｻｷ ﾒｲｼｮｳ	
ｼﾞｺｸ ｼﾃｲ	1) 23:45	(ﾄﾞｳﾎｳ ｿｳｼﾝ)	04%
ｻｲﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲｷﾁｭｳ	1)	ｴｲｷﾞｮｳ ﾀﾞｲ1	02%
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ ﾀｲｷﾁｭｳ			08%
ECM			11%
ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	:	052 825 △△11	

②
③

ﾒﾓﾘ ｻﾞﾝﾘｮｳ

ｱｷﾖｳﾘｮｳ	54%

④

①２つのファクスメッセージがメモリに記憶されていることが示されています。ファクス転送機能により転送されたファクスメッセージは自動的にメモリから消去されますので、このリストには記載されません。

②タイマ送信、ポーリング送信待機や再ダイヤルに関しての事項がメモリに蓄積されていることが示されています。

③ファクス転送番号が示されています。

④使用可能なメモリ量が示されています。
メモリ残量が０％になると「メモリザンリョウ」はプリントされません。

7章

便利なサービスを利用する（有料）

トーン信号によるサービスを利用する

ダイヤル回線をご利用の場合でも、トーン（PB）信号による各種サービス（銀行ANSER・クレジット通話サービス・ポケットベルサービス・照会案内サービス・ホームテレホンにおけるテレコントロール・留守番電話における遠隔制御など）を利用することができます。
プッシュ回線をご利用の場合は、この操作は必要なく、ダイヤルボタンを押すだけです。

1 各種サービスの電話番号をダイヤルする。

2 ＊（トーン）ボタンを押します。

3 サービスの指示に従ってダイヤルボタンを押します。
具体的な利用方法につきましては、各種サービスの提供先にお確かめください。
●電話を切るとダイヤル回線に戻ります。

メ　モ
●ＮＴＴの伝言ダイヤルなどはダイヤル回線では利用できません。ダイヤル回線で利用できるサービスかどうかは、各サービスの提供先に問い合わせください。

各種の電話サービスについて

＜NTTの電話転送サービス「ボイスワープ」をご契約のお客様へ＞

自動転送機能でかかってきた電話を転送するとき、転送先にファクスを受信できない端末を指定した場合、ファクスが受信できなくなります。ご注意ください。

8章

プリンターとして利用する

使用可能な記録紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスはA４サイズでのみプリントできます。

種　類	サイズ
普通紙	A4、レター、リーガル、B5、A5、バイブルサイズのシステム手帳用紙、カスタムサイズ（70-216mm×127-356mm）
封　筒	洋形4号、洋形定型最大
はがき	100×148mm
ラベル･OHP用紙	70-216mm×127-356mm

	普通紙	封　筒
坪　量	64～158g/m²	75～90g/m²
厚　さ	0.08～0.2mm	0.084～0.14mm（紙1枚分の厚さ）
水分含有量	重量の4%～6%	（同　左）

セットできる記録紙枚数

マルチパーパスシートフィーダー：高さ22mm (給紙ガイドの▼マークまで)
A4(75g/m²紙にて)約200枚
A4(158g/m²紙にて)約50枚
封筒10枚
官製はがき約30枚
OHP用紙約50枚

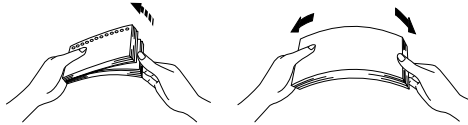
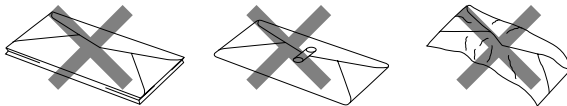
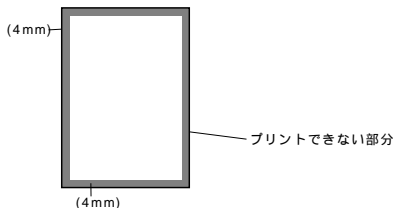
推奨紙

普通紙：三菱製紙スピードダイヤ
封筒：Life E506/B、Life E505/B
ルーズリーフ･システム手帳用紙：ENXS社製
ラベル：エーワンレーザーラベル28352
OHP用紙：住友3M CG3300

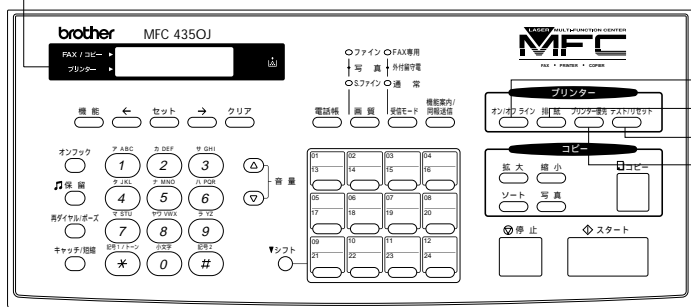
メ　モ

●特殊なサイズや種類の記録紙を使用する場合は、最初にテストを行ってください。
●一部をすでに使用した宛名ラベルの印刷は避けてください。故障の原因になります。
●ビニールコーティングされた用紙を使用しないでください。
●極端になめらかな用紙は使用しないでください。
●プリント品質をより良くするために、特に普通紙、OHP用紙などには、弊社推奨品をご使用ください。記録紙の種類などについて、詳しくはお買い上げ販売店、またはブラザーの営業所・支店にご相談ください。
●宛名ラベル、OHP用紙などは、レーザープリンタ用のものをお使いください。
●最高のプリント品質を得るために、たて目用紙を使用されることをおすすめします。
●特別な用紙を使用中、マルチパーパスシートフィーダーから上手く給紙できない場合には、手差しスロットから1枚ずつ給紙を試してください。
●本機は、再生紙を使用できます。

メ　モ

●ルーズリーフなど、穴の開いた用紙を使用する前には、紙を良くさばいて、給紙がスムーズになるようにしてください。
●用紙がカールしていないか、確認してください。もしカールしている場合は、まっすぐにしてからご使用ください。カールしたままの用紙をご使用になりますと、用紙づまりなどの原因になります。

●以下のような封筒は使用しないでください
・長形封筒
・傷がついていたり、カールしていたり、しわが入っている封筒
・規格外の封筒
・表面に光沢があったり、表面がすべりやすい封筒
・留め金つきの封筒
・ふたに粘着のりがついた封筒
・マチ付の封筒
・きちんと折り目がついていない封筒
・エンボス加工(紙に凹凸がある)を施した封筒
・一度レーザープリンターでプリントされた封筒
・内側にすでに印刷されている封筒
・積み重ねたときに、一定に積み重ねられない封筒

●プリント可能範囲は、用紙の端から約4mm内側から始まります。

コントロールパネルキー

プリンター/スキャナ表示

①オン/オフラインボタン
②排紙ボタン
③テスト/リセットボタン
④プリンター優先ボタン

同時作業について

ファクス送・受信中、または画像をスキャニング中に、パソコンからのデータをプリントできます。コピー中や受信したファクスをプリント中には、それらの作業が終了するまで、パソコンのプリントを中断します。

①オン/オフラインボタン

プリンターの状態をオンライン(パソコンからのデータ送信が可能な状態)またはオフライン(パソコンからのデータを受信できない状態)に切り換えます。プリンターが オ™ンライン のときには、ディスプレイに「オンライン」と表示され、排 紙 ボタン、テスト/リセット ボタンを使用することはできません。

②排紙ボタン

<記録紙排出>

ディスプレイに ﾃﾞｰﾀｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ と表示されているとき、オン/オフライン ボタンを押してオフライン状態にし、このボタンを押してください。プリンターメモリに残っているデータをプリントします。

ワンポイント：本機は自動でメモリ内に残っているデータをプリントします。

<エラー解除>
メモリ不足などのエラーが起きると、そのエラーを自動的に解除しようとします。しかし自動的にエラーを解除できない場合は、このボタンを押してエラーを解除し、プリント作業を続けることができます。

③テスト/リセットボタン

<テストプリント>
テストサンプルページをプリントするときに押します。オン/オフラインボタンを押してプリンターをオフライン状態にし、それからテスト/リセットボタンを押してください。オンライン状態のとき、テストサンプルページはプリントできません。

<リセット>
シフトボタンを押しながらこのボタン押すと、プリンターメモリ内にオフライン状態で蓄積されているデータをすべて消去します。

④プリンター優先ボタン
プリンターモード専用にするときに押します。すべてのファクスデータは記録紙にプリントされるかわりにメモリに蓄積されます。もう一度このボタンを押すと、パソコンのデータが送信されないか、または本機がプリントを終了したら、プリント優先設定を終了します。

メモ

Windows®からのプリント
Microsoft® Windows®95、98、NT 4.0専用のプリンタードライバが同梱されているフロッピーディスクに入っています。これらはお使いのWindows®システムに簡単にインストールできます。このドライバは、Windows®アプリケーションソフトウェアからのプリントスピードを早くするブラザー独自の圧縮モードを採用しています。エコノミープリントモードや、カスタム用紙サイズなどのさまざまなプリント設定をすることができます。

容量の大きなデータのプリント
本機には、自動的にグラフィック(画像)データを圧縮し、ブラザー独自のデータ圧縮技術を用いられています。これにより、メモリ容量不足などによるエラーを回避し、本機の標準メモリでほとんどの600dpiグラフィックデータやテキストデータ(大きなフォントも含む)をプリントすることができます。

マルチパーパスシートフィーダー

本機には普通紙、封筒、はがきなどの各種の用紙を使用できるマルチパーパスシートフィーダーがあります。
本機がプリントデータを受け取ると、マルチパーパスシートフィーダーから用紙を取り込んでプリント作業を行います。

1 プリントの画面で設定内容を確認し、<OK>ボタンをクリックします。

```
'99 05/15  15:25
ｵﾝﾗｲﾝ
```

2 パソコンが本機にプリントコマンドとプリントデータを送ると、スリープ状態になっていても自動的にオンライン状態になります。(取扱説明書〈セットアップ編〉44～45ページを参照)

```
'99 05/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ
```

3 パソコンが最初のページのデータを送り終わると、プリントを開始します。

```
'99 05/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ
```

4 その次のページ以降は、自動的にプリントします。

【例】2ページ目のとき

```
'99 05/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ
```

5 すべてのページのプリントが終了すると、オンライン状態に戻ります。

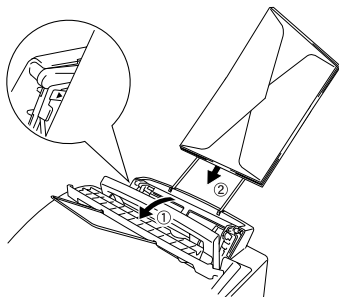
```
'99 05/15  15:25
ｵﾝﾗｲﾝ
```

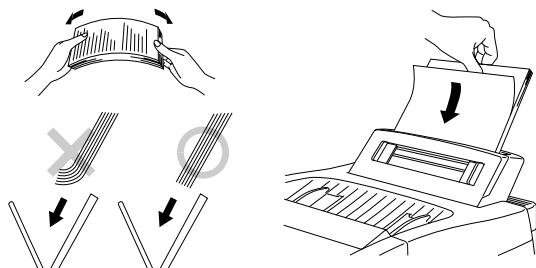
プリンターメモリ内にまだデータが残っているとき(最後の１ページがプリントされないときなど)は、オン/オフライン ボタンを押し、次に 排 紙 ボタンを押してください。

```
'99 05/15  15:25
ﾃﾞｰﾀ ｶﾞ ﾉｺｯﾃｲﾏｽ
```

メ　モ
- アプリケーションソフトウェアから、用紙サイズ、用紙方向などを設定できます。
- アプリケーションソフトウェアがカスタム用紙サイズをサポートしていない場合は、カスタム用紙サイズより大きめの最も近いサイズの用紙を選択して、アプリケーションソフトウェアで上下左右の余白(マージン)を変更して、プリント範囲を調節してください。

お願い
- 宛名ラベルやOHP用紙をプリントする際は､手差しスロットをご使用になることをおすすめします。詳しくは、次の｢手差しスロット｣をご覧ください。
- 印字データは記録紙の裏面に印字されます。裏表のある記録紙を使用する場合にはプリントする面を下にして、記録紙をセットしてください。

メ　モ　封筒にプリントする際は、必ず下記の手順で封筒をセットしてください。

両面印刷

付属のWindows® 95、98またはWindows NT® 4.0のプリンタードライバは、両面印刷が可能です。設定のしかたについては、プリンタードライバのヘルプを参照してください。
本機は最初に偶数ページをプリントし、その後に奇数ページをプリントします。片面のプリントが終わったら、正しい手順でもう一度用紙をセットしてください。
用紙をもう一度セットする前に、用紙をよく揃えてください。きちんと用紙が揃っていないと、用紙づまりの原因になります。極端に薄い、または厚い用紙を使用しないでください。給紙の際に2回続けて給紙エラーを起した場合は、給紙のときに最初に取り込まれる用紙以外を手で押さえていてください。

お願い　プリンタードライバの印刷先ポートが｢BRMFC：｣や｢ネットワーク接続先｣になっている場合、画面に手順が表示されません。印刷先ポートを｢LPT1：｣に変更してお使いください。

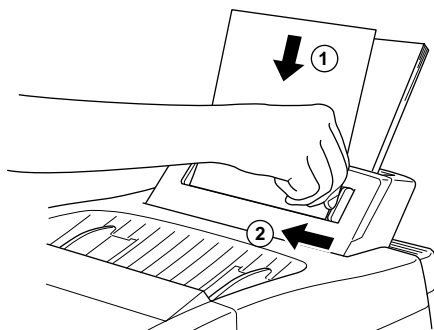
ページ割り付け印刷

付属のWindows®95、98またはWindows NT®4.0のプリンタードライバはA4サイズの原稿2ページを1ページに割り付ける、ページ割り付け印刷が可能です。詳しくはプリンタードライバのヘルプを参照してください。

手差しスロット

マルチパーパスシートフィーダーには、手差しスロットがついています。手差しで給紙するときもマルチパーパスシートフィーダーにセットしてある用紙を取り除く必要はありません。宛名ラベルやOHP用紙などをプリントする際は、手差しスロットをご使用ください。使用できる用紙については、116ページの「使用可能な記録紙」を参照してください。

１枚だけ給紙する

プリンタードライバの[設定]画面から、「手差し」を選択する必要はありません。用紙は手差しスロットにプリントする面を下にし、用紙方向(縦／横)を確認して挿入します。用紙をまっすぐにし、手差しスロットの中央にセットします。手差しスロットの用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

１枚以上給紙する

プリンタードライバの[設定]画面を開き、給紙方法で「手差し」を選択します。前項の「１枚だけ給紙する」の手順に従って最初の用紙を給紙すると、自動的にプリントを開始します。最初のページをプリントし終わったら、パソコンの画面に次の用紙をセットするように表示されます。用紙をセットし、<OK>ボタンをクリックするとプリントを再開します。すべてのページのプリントを終わるまで、この手順を繰り返してください。

お願い

●Windows® 95、98のとき、プリンタードライバの印刷先ポートが「BRMFC：」や「ネットワーク接続先」になっていると、画面に次の用紙をセットするように表示されません。印刷先ポートを「LPT1：」に変更してお使いください。
●Windows NT® 4.0のとき、1枚以上給紙する場合、手差しスロットは使用せず、マルチパーパスフィダーの用紙を入れかえてお使いください。

メモ

1. ワープロなどお使いのアプリケーションソフトウェアから、給紙方法、用紙サイズ、用紙方向を選ぶことができます。
2. 給紙方法で「手差し」を選択していないときに手差しスロットに用紙をセットした場合は、最初のページを手差しスロットから給紙し、残りのページをマルチパーパスシートフィーダーから給紙します。
3. お使いのアプリケーションソフトウェアで使用したい用紙サイズをサポートしていない場合は、それよりひとつ大きな用紙サイズを選び、上下左右の余白(マージン)を変更して、プリント範囲を調節してください。
4. 手差しプリントを途中で止めたい場合、 オン/オフライン キーを押しオフライン状態にして、 シフト ボタと テスト/リセット ボタンを一緒に押すか、パソコンからの操作で中止することができます。
5. 手差しスロットで給紙するときは、 プリンター優先 ボタンを押してください。このボタンを押すと、ファクスを受信したときでもプリント作業が中断されることはありません。ファクス受信したときは本機のメモリ内に蓄積されます。

メモ

記録紙トレー
●本機は、プリントし終わった用紙を前面にある記録紙トレーに、プリントした面を下にして排出します。
●OHP用紙などにプリントする場合、用紙づまりや用紙のカールを防ぐために、プリントし終わった用紙はすぐに記録紙トレーから取り除いてください。

9章

こんなときには

お手入れのしかた

いつも快適にご使用いただくために、いつもきれいにしておいてください。

<キャビネットの清掃>

キャビネットを乾いた布で軽く拭きます。

お願い ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、水、アルコールは絶対に使用しないでください。

メモ ●無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなど

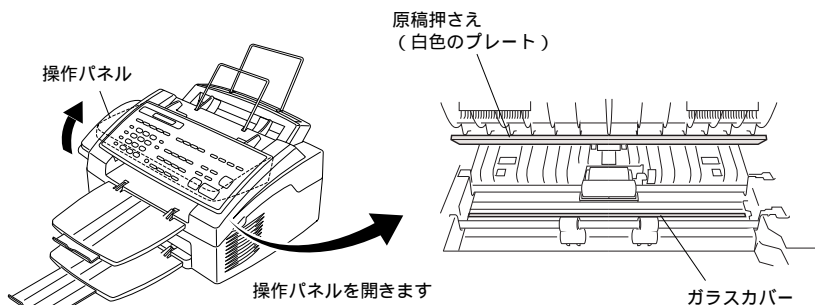
<読取部の清掃>

いつもきれいな画質を得るために読取部の清掃を行ってください。読取部が汚れていると、そのまま画質の汚れとなって送信やコピーされます。送信やコピーで黒っぽくなったり、細い線が入るときには読取部を清掃してください。

1 操作パネルを開きます。

2 読取部を清掃します。柔らかい布にアルコールを浸して、原稿押さえ(白色のプレート)とガラスカバーをきれいに拭きます。

3 操作パネルを閉じます。

お願い 操作パネルは、アルコールを浸した布で絶対に拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。

<金属部／スキャナウインドウの清掃>

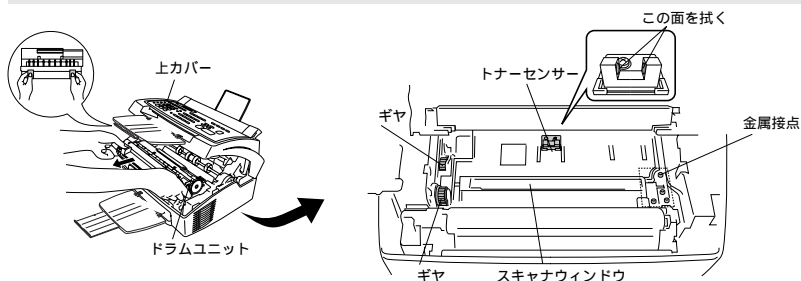
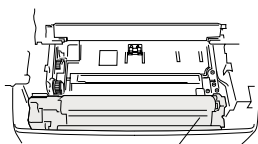
金属接点が汚れていると、動作不良を起こしたり、間違ってエラーメッセージを表示することがあります。いつも快適にご使用いただくために金属接点の清掃を行ってください。
コピーをとったり、ファクスを受信したとき、部分的に白く抜けが入る場合はスキャナウィンドウの清掃を行ってください。

1 上カバーを開き、ドラムユニットを取り外します。

2 柔らかい布や綿棒にアルコールを浸して、①の金属接点を拭きます。

3 柔らかい乾いた布で、②のスキャナウィンドウと③のトナーセンサー部を軽く拭きます。

4 柔らかい乾いた布や綿棒で④のギヤを拭きます。

お願い ②のスキャナウィンドウと③のトナーセンサー部、④のギヤは、アルコールを浸した布では絶対に拭かないでください。

⚠注意	内部は高温になっていますので、充分に注意してください。やけどするおそれがあります。

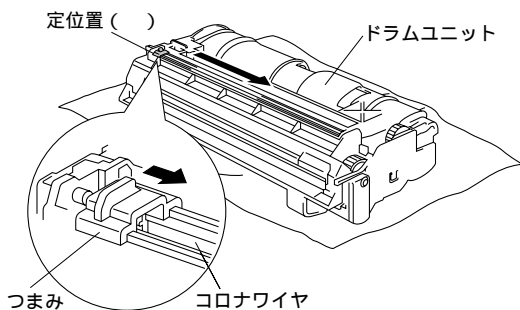
<ドラムユニットの清掃>

記録紙の端に黒い帯が入ったらドラムユニットの清掃が必要です。またトナーカートリッジ交換の際に汚れがなくても清掃しておくとよいでしょう。

1 トナーカートリッジのシャッターレバーが手前側に倒れていることを確認します。

2 平らな場所にトナーで汚れてもよい紙などを敷き、ドラムユニットを裏返して置きます。

3 つまみを左右に数回動かして、コロナワイヤを清掃します。(つまみを左右に動かすことにより、コロナワイヤの清掃ができます。汚れがひどい場合はコロナワイヤを動かす回数を増やしてください。)

4 つまみを定位置(▲マーク)に戻します。清掃後は、必ず定位置に戻してください。

紙づまり

原稿や記録紙がつまったときは、ブザーが鳴り、ディスプレイに次のようなエラーメッセージが表示されます。

ｹﾞﾝｺｳ ﾂﾏﾘ	……原稿がつまったとき
ｷﾛｸｼ ﾂﾏﾘ	……記録紙がつまったとき

＜原稿がつまったときは＞

次の手順でつまった原稿を取り除きます。

1 繰り込まれていない原稿を取ります。

2 操作パネルを開きます。

3 つまった原稿を手前に引き、取り除きます。

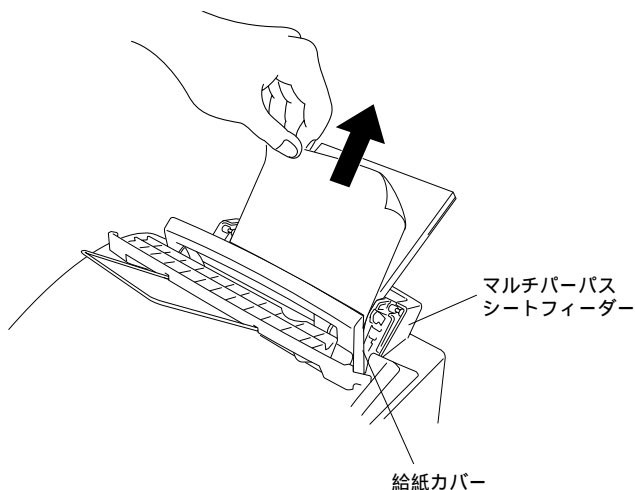
4 操作パネルを閉じます。

5 停 止 ボタンを押します。

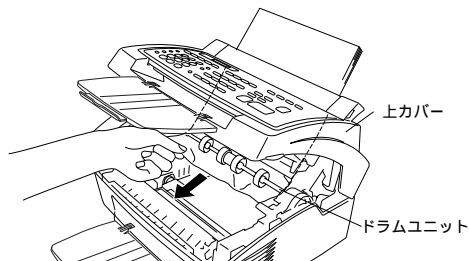
＜記録紙がつまったときは＞

記録紙がつまった場所により、取り除きかたが違いますので、下記の手順でつまった記録紙を取り除いてください。

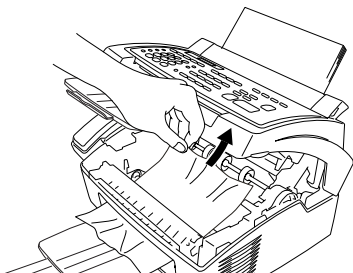
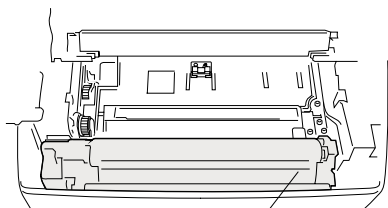
1 マルチパーパスシートフィーダー部でつまったとき

▶マルチパーパスシートフィーダーの給紙カバーを開き、つまった記録紙を取り除きます。軽く引いても記録紙が取り除けない場合は、手順2または手順3に進みます。取り除けた場合は、給紙カバーを閉じます。

2 ドラムユニットの近くの内部でつまっているとき

▶上カバーを開き、つまった記録紙を手前に引き、取り除きます。

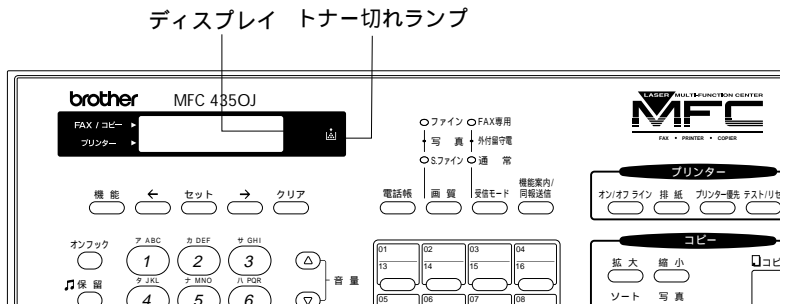
上カバーを開いても、つまった記録紙が見えない場合は、手順3に進みます。取り除けた場合は、上カバーを閉じます。

3 上カバーを開いても、つまった記録紙が見えないとき

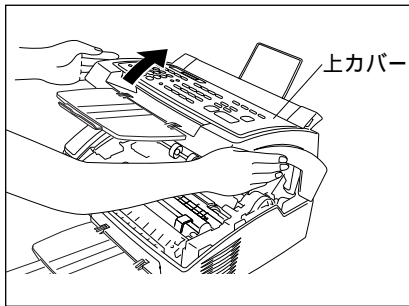
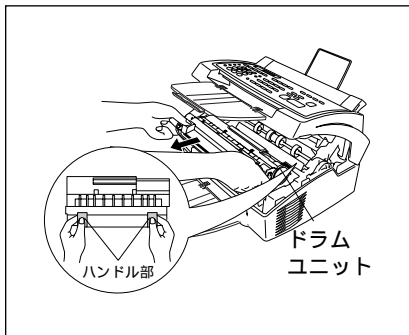
▶ドラムユニットのハンドル部を持ち、取り外し、つまった記録紙をゆっくり取り除きます。

⚠注意

内部は高温になっていますので、充分に注意してください。やけどするおそれがあります。

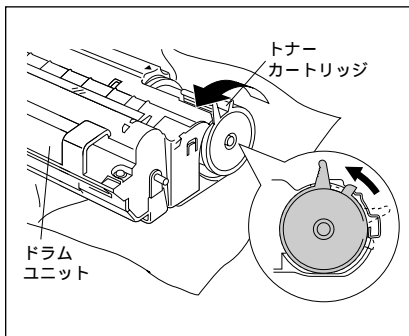
4 ドラムユニットを元に戻し、上カバーを閉じます。

トナーカートリッジの交換のしかた

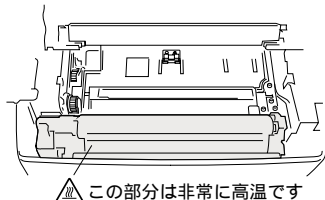
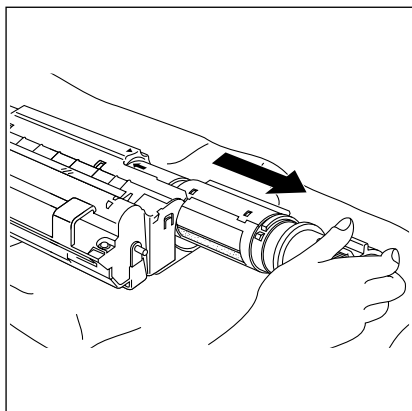
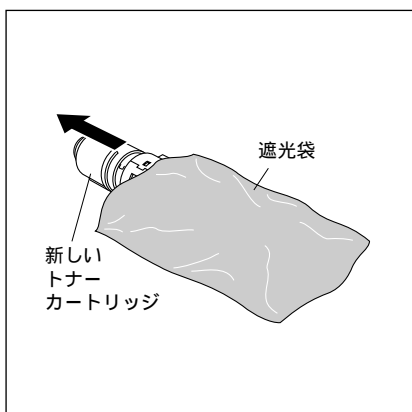
トナーが残り少なくなると、ディスプレイに ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ と表示され、同時に操作パネルのトナー切れランプが点滅して知らせます。
さらに使い続けるとトナーがなくなり、トナー切れランプが点灯し、ディスプレイに ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ と ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ が交互に表示されます。
一度この表示になると新しいトナーカートリッジに交換するまでプリントやコピーができなくなります。

お願い

- ●トナーカートリッジ・ドラムユニットの交換は窓際など、強い光の当たるところは避けて行ってください。
- ●ドラムは長い間光に当てないでください。正常な記録ができなくなります。
  また、絶対に直射日光には当てないでください。
- ●ドラムに手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。
- ●トナーカートリッジを交換の際に、ドラムユニットの清掃とスキャナウィンドウの清掃も合わせて行ってください。

1 上カバーを開きます。固定できるところまでしっかり持ち上げてください。

2 ドラムユニットのハンドル部を持ち、取り外します。

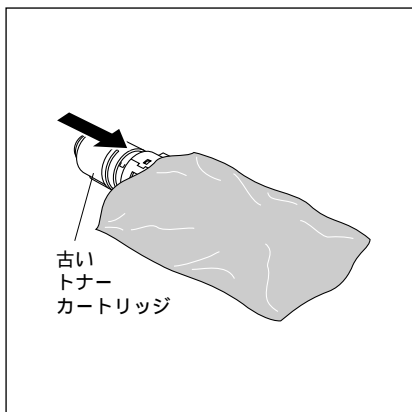
お願い

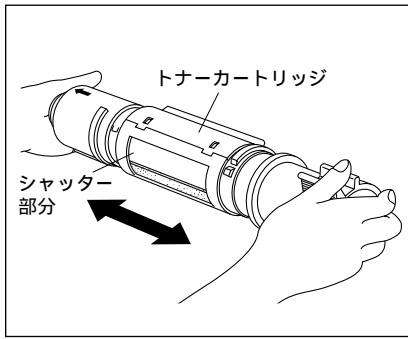
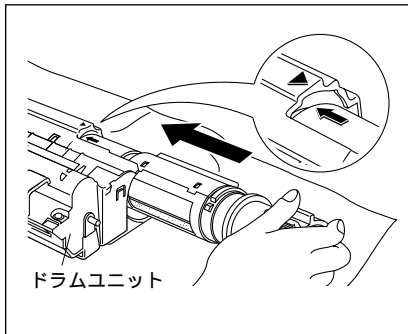
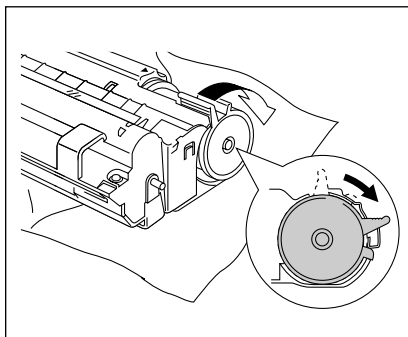
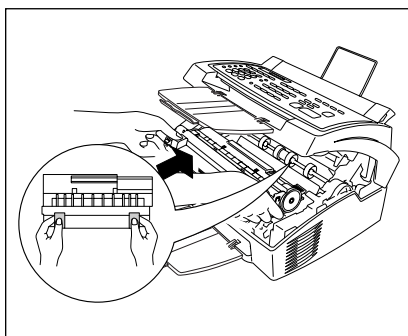
取り出したドラムユニットを平らな安定した場所に紙などを広げ、その上に置きます。
トナーがこぼれることがありますのでご注意ください。

3 トナーカートリッジのシャッターレバーを手前に倒します。

⚠注意

●使用直後のドラムユニットはハンドル部以外のところは高温になっていますので、やけどに注意してください。

4 トナーカートリッジを取り外します。

5 新しいトナーカートリッジを遮光袋から取り出します。

お願い

トナーカートリッジは取り付ける直前に遮光袋から取り出してください。

6 古いカートリッジを遮光袋に入れます。

⚠警告	トナーカートリッジは火の中に絶対に投じないでください。爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因となります。 使用後のトナーカートリッジはビニール袋などに入れて、燃えないゴミとして処理してください。

7 新しいトナーカートリッジを水平に持ち、5〜6回左右に振ってください。シャッター部分の保護テープをはがします。

8 ドラムユニットにトナーカートリッジを取り付けます。トナーカートリッジの矢印とドラムユニットの矢印を合わせ、トナーカートリッジを挿入します。

9 シャッターレバーを奥に倒します。

10 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本体に取り付けます。

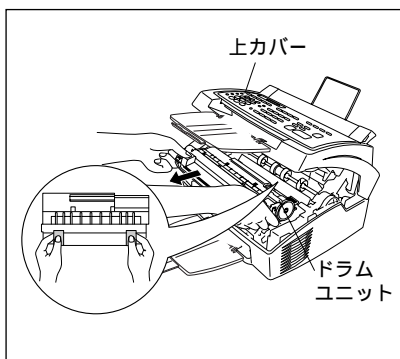
11 上カバーを閉じます。

ドラムユニットの交換のしかた

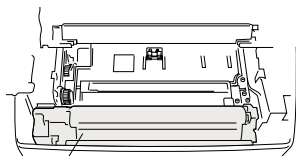
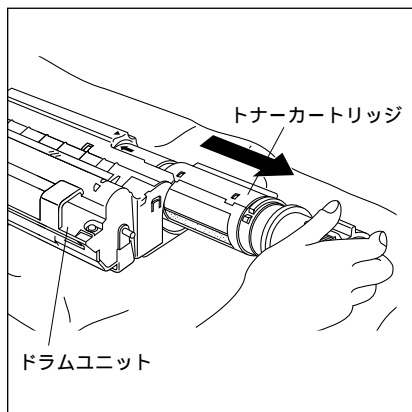
ドラムユニットの交換時期になると、ディスプレイに下記のようなエラーメッセージが表示されます。

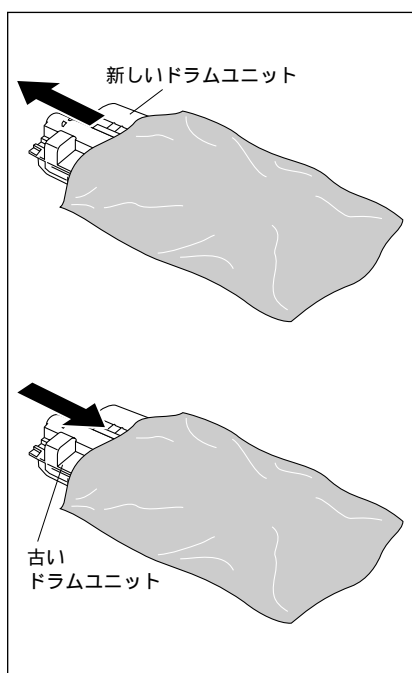
ディスプレイ表示	対処方法
ﾄﾞﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞｷﾃﾞｽ	ドラムユニットの交換時期です。新しいドラムユニットに交換してください。

お願い

- ●トナーカートリッジ・ドラムユニットの交換は窓際など、強い光の当たるところは避けて行ってください。
- ●ドラムは長い間光に当てないでください。正常な記録ができなくなります。また、絶対に直射日光には当てないでください。
- ●ドラムに手を触れないでください。ドラム表面に手の油や汚れが付着すると、きれいなプリントができなくなります。

1 上カバーを開きます。

2 ドラムユニットのハンドル部を持ち、取り外します。

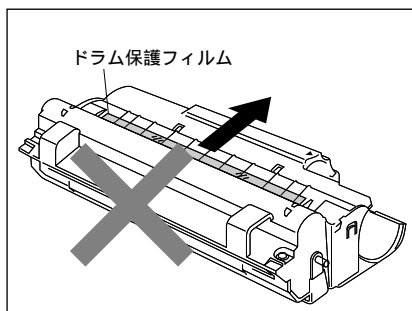
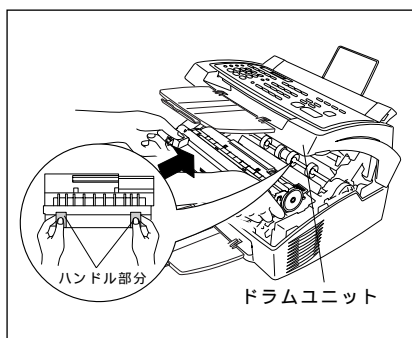
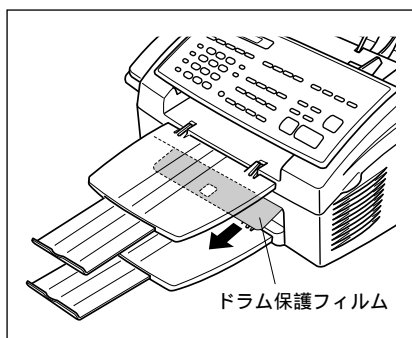
⚠注意	●使用直後のドラムユニットはハンドル部以外のところは高温になっていますので、やけどに注意してください。

3 シャッターレバーを手前に倒します。

4 トナーカートリッジを取り外します。

5 新しいドラムユニットを遮光袋から取り出します。

お願い

ドラムユニットは、取り付ける直前に遮光袋から取り出してください。

6 古いドラムカートリッジをビニール袋(ドラムユニット廃棄用)に入れます。

⚠警告	ドラムユニットを火の中に絶対に投じないでください。爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災・やけどの原因となります。使用後のドラムユニットはビニール袋(ドラムユニット廃棄用)に入れて、燃えないゴミとして処理してください。

7 トナーカートリッジをドラムユニットに取り付けます。トナーカートリッジも交換するときは、この時点で新しいカートリッジを取り付けます。新しいトナーカートリッジのときは、134ページを参照し準備をしてから取り付けます。このとき、ドラム保護フィルムを抜き取らないでください。

8 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本体に取り付けます。

9 上カバーを閉じて、電源プラグを差し込みます。ドラム保護フィルムが出てくることを確認してください。

エラーメッセージ

本機や電話回線に異常があるときにディスプレイに表示します。下記の処置を行ってもエラーが解除されないときは、フリーダイヤル0120-143410へ確認してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｱｲﾃｻｷ ｶｸﾆﾝ	通信中に相手先から回線が遮断されました。	相手先に電話して原因を解除してもらい、再度送信してください。
ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｾｯﾄ	トナーカートリッジが取り付けられていません。	トナーカートリッジを取り付けてください。(134～135ページ参照)
ｶﾊﾞｰ ｵｰﾌﾟﾝ	上カバーが完全に閉まっていません。	上カバー、または給紙カバーがきちんと閉じているか、確認してください。
ｷﾛｸｼ ｶｸﾆﾝ	記録紙がなくなったか、記録紙が正しくセットされていないか、記録紙が記録部につまっています。	記録紙を補給するか、正しくセットし直してください。または、つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。(取扱説明書<セットアップ編>4ページ参照)
ｷﾛｸｼｻｲｽﾞ ｶｸﾆﾝ	記録用紙のサイズが正しくありません。	このエラーが起こった場合、縮小率は自動的に[ジドウ]に設定されます。(23ページ参照)
ｷﾛｸｼ ﾂﾏﾘ	記録紙がなくなったか、記録紙が正しくセットされていません。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。(129～131ページ参照)
ｹﾞﾝｺｳ ﾂﾏﾘ	原稿が正しく挿入されていない、原稿が正しく送信されていない、原稿サイズが長い、のいずれかが原因で原稿がつまっています。 原稿受けが正しくセットされていますか。	操作パネルを開き、原稿を取り出してください(129～131ページ参照)。取り出したら操作パネルを閉じ、停止ボタンを押します。原稿ガイドを原稿の幅に合わせて原稿をセットし直し、再度送信してください。 原稿サイズが長すぎる場合は、複写機で縮小コピーをしてからセットし直してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
ｿｳﾁｶｸﾆﾝ XX ｽﾄｯﾌﾟ ﾎﾞ ﾀﾝ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞ ｻｲ (交互に表示)	本機に何らかの異常が発生しました。	電源コードを抜き、フリーダイヤル0120-143410までご連絡ください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ	回線状態が悪い、または相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行いました。	少し時間がたってから再送してください。相手先に確認して、再度操作してください。
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	電話/ファクス番号が登録されていないワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル番号を押しました。	電話/ファクス番号を登録してください。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞ ｻｲ	ディスプレイに[トナー　コウカン　シテクダサイ]と表示され、コントロールパネルのトナー切れランプが点滅している状態はまだプリント作業を行うことができますが、トナーの残りが少なくなり、トナーの交換時期が近いことを知らせています。	新しいトナーカートリッジを用意してください。(132ページ参照)
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｼﾃｸﾀﾞ ｻｲ ﾄﾅｰｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ (交互に表示される)	トナーがなくなったので、プリントすることができません。	トナーカートリッジを新しいものと交換してください。(132ページ参照)
ﾄﾞ ﾗﾑ ｺｳｶﾝ ｼﾞ ｷﾃﾞ ｽ	ドラムユニットの寿命です。	新しいドラムユニットに取り換えてください。(134ページ参照)
ﾊﾅｼﾁｭｳ/ｵｳﾄｳﾅｼ	相手が出ない、または通信中(話し中)です。	ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。

ディスプレイ表示	原　因	処　置
PC ｾﾂｿﾞｸｴﾗｰ	PCとの通信が上手くできていません。	ケーブルを確認してください。
ﾒﾓﾘ ｹﾞﾝｶｲ	メモリがいっぱいになりました。	●排紙ボタンを押し、本機に残っているデータをプリントしてください。 ●Windows®用プリンタドライバをインストールしてある場合、お使いのアプリケーションソフトウェアの[印刷]コマンドの中のTrueTypeモードのセッティングを「グラフィックとして印刷」に設定してください。 ●印刷解像度を下げるか(45ページ参照)、原稿の内容を簡単にしてください。

その他の問題

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしていただき、なお異常があるときはフリーダイヤル0120ー143410へご連絡してください。

	こんなとき	ここをチェック	参照ページ
原稿	**原稿が繰り込まれて行かない。**	・原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。 ・操作パネルは確実に閉まっていますか。 ・原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。 ・原稿が折れ曲がったり、カールしていたり、しわになっていませんか。 ・原稿が小さすぎませんか。 ・原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	36 — 34 35 34 36、129
	原稿が斜めになってしまう。	・原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。 ・原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていませんか。	36 36、129
送信および受信	**スタートボタンを押しても送信または受信しない。**	・原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。 ・スタートボタンを押す前に、受話器を戻していませんか。 ・外付の電話機が通話中ではありませんか。 ・回線種別は正しく設定されていますか。 ・ターミナルアダプタは正しく設定されていますか。(ISDN回線の場合)	38 17 — セットアップ編 32〜36 —
	送信後、受信側から画像が乱れていると連絡があった。	・きれいにコピーがとれますか。 →コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。 ・相手先に異常がありませんか。 ・画質モードは適切ですか。 ・キャッチホンが途中で入っていませんか。 ・並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。	76 126 — 45、46 13 20
	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本機の読み取り部分が汚れているか、もしくは受信側のプリンタのヘッドが汚れている可能性があります。一度コピーをとってみて、きれいにコピーがとれる場合は、受信側の機械に問題があります。	76、126

	こんなとき	ここをチェック	参照ページ
受信	**受信したファクスに縦の線が入っている。**	本機のコロナワイヤが汚れているか、もしくは送信側の機械の読み取り部が汚れていると思われます。まずコロナワイヤを掃除し、コピーをとってみて、きれいにコピーがとれる場合は、送信側の機械に問題があります。 ・コロナワイヤのつまみが正しい位置にあるかどうか確認してください。	128 128
	リモート受信できない。	・リモート起動の設定は「ON」になっていますか。 ・リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。 ・操作パネルは確実に閉まっていますか。 ・記録紙は正しくセットされていますか。 ・メモリがいっぱいになっていませんか。	21、22 20、21 — セットアップ編4 25
	受信しても、記録紙が出てこない。	・記録紙は正しくセットされていますか。 ・記録紙がつまっていませんか。 ・記録紙がなくなっていませんか。 ・上カバーは確実に閉まっていますか。 ・トナーはありますか。 ・プリンタ優先モードになっていませんか。	セットアップ編4 130、131 セットアップ編4 131 — 119
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	・送信側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。 ・コピーが正しくとれるか確認してください。（ドラムユニットをセットし直してコピーが正常にとれるがどうか確認してください。） ・自動縮小受信が「OFF」になっていませんか。	— 76 136 23、24
	受信した記録紙に横じまが入る。	・電話回線の接続状況や回線状態が悪いため起こりますので、相手にもう一度、送信し直してもらってください。 ・きれいにコピーできますか。 →コピーに異常があるときは記録部を清掃してください。	— 76 128
	受信した結果が良くない。	・きれいにコピーできますか。 →コピーに異常があるときは記録部を清掃してください。 ・送信側の原稿に異常がありませんか（薄い、かすれ）。	76 128 —
	記録紙が重なって出てくる。	・紙をさばいて入れ直してください。	セットアップ編4
	B4サイズの原稿が受信できない。	・送信側の問題です。	—

	こんなとき	ここをチェック	参照ページ
受信	**構内交換機に内線接続したときに内線または凱旋からのファクスが受信できない。**	内線および外線から、ファクスを受信するときのベルの鳴りかたを確認し、フリーダイヤル0120-143410にご連絡ください。	—
コピー	**コピーを取ると縦の線が入る。**	本機の読取部、もしくはコロナワイヤが汚れていると思われます。両方の掃除を行ってください。 ・コロナワイヤのつまみが正しい位置にあるかどうか確認してください。	126 128
プリント	**印刷ページの端や中央がかすむ。**	本機が平らで、水平な場所に置かれているか確認してください。問題が改善されない場合は、トナーカートリッジを取り付けたままドラムユニットを外し、左右によく振って、ドラムユニットを再び取り付けます。もう一度プリントし直して、印刷の質がよくならない場合は、ドラムユニットを交換してください。ドラムユニットを交換してもまだ印刷の質に問題がある場合、フリーダイヤル0120-143410にご連絡ください。	136 ～ 138
	印刷の質が悪い。	ドラムユニットを新しい物と交換してください。	136～138
	印刷結果が明るすぎる/暗すぎる。	印刷の濃さを変更してください。	セットアップ編 46
電話	**受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。**	・回線種別を正しく設定してください。 ・ターミナルアダプタの設定を確認してください。(ISDN回線の場合)	セットアップ編 32～36 —
	電話のベルの音が小さい。	・ベル音量を大きくしてください。	セットアップ編 43
	電話機からの相手の声が聞き取りにくい。	・受話音量を大きくしてください。	セットアップ編 43
	電話がかかってきても、本機が応答しない。	・本機が電話モードになっていないか確認してください(「FAX専用」ランプ、「通常」ランプ両方が消灯している)。セットアップ時に、正しい受信モードになっているか確認してください。ダイヤルトーンが聞こえるか確認してください。もしできれば、本機に電話をかけて、何が起こっているのか聴いてみてください。 ・「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れればターミナルアダプタの設定に誤りがあります。ターミナルアダプタの設定を確認してください。	10 —

	こんなとき	ここをチェック	参照ページ
電話	**受話器からダイヤルトーンが聞こえない。**	オンフック ボタンを押してください。ダイヤルトーンが聞こえない場合、電話機コードが正しく接続されているか確認してください。電話線コンセントに他の電話機を接続し、電話回線に何か問題がないか、確認してください。 また、回線種別が正しく設定されていない可能性があります。回線種別を設定し直してください。 ・ターミナルアダプタの電源が入っているかどうか確認してください。	セットアップ編 32〜36 —
	電話がかかってきたとき、ベルを1〜2回呼び出して切れる。	ダイヤルインの契約をされていませんか。 →NTTとダイヤルインを契約されていますと、本機は電話がかかってきたときに電話が切れてしまいます。ダイヤルイン契約をしていない回線に接続してください。	—
ISDN回線*	**電話がかけられない。**	・FAX本機の回線種別を「PB」に設定して下さい。 ・本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定すると電話がかけられません。	セットアップ編 35
	電話を受けてもFAX本機のベルが鳴らない。 (電話をかけた側は、ずっと呼び出し続けている)	・何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。 ・自己アドレス(契約回線番号およびダイヤルイン追加番号)は正しく入力されているか確認してください。	—
	1〜2回おきにしか本機が接続されているアナログポートに、着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1〜2回おきにしか着信できません。	—

	こんなとき	ここをチェック	参照ページ
ISDN回線*	電話をかけた側で、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています･･･」とメッセージが聞こえてつながらない。(電話を受けた側の呼出ベルは鳴らない)	◆契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC設定は「HLC設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。 ◆ダイヤルイン追加番号のアナログポートに本機を接続している場合 ・自己アドレス(ダイヤルイン追加番号)を登録してください。 ・サブアドレスなし着信は「着信する」に設定してください。 ・HLC設定は「HLC設定しない」に設定してください。 ・識別着信は「識別着信しない」に設定してください。 また、一度ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はNTT故障係(113)へご連絡ください。	—
	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルも一緒に鳴る。	・ダイヤルイン追加番号アナログポートのグローバル着信は「しない」に設定してください。 ・ダイヤルイン追加番号アナログポートの自己アドレスにダイヤルイン追加番号を登録してください。	—
	特定の相手とFAX通信できない。	フリーダイヤル(0120-143410)へご連絡ください。	—
	FAX送受信ができない。(電話はかけることも、受けることもできる)	・ターミナルアダプタの自己診断モードでISDN回線の状況を確認し、異常があった場合はNTT故障係(113)へご連絡ください。 回線に異常がなければ、フリーダイヤル(0120-143410)へご連絡ください。	—
その他	ディスプレイに[キロク　エラー]の表示が出る。	・長時間コピーや受信をしていませんか。 →長時間コピーや受信をすると、加熱保護機能がはたらいて停止することがあります。このときには電源コードを抜き、しばらくしてから操作し直してください。	—
	電源が入らない。	・電源コードは確実に差し込まれていますか。 →雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。	セットアップ編 9

* ターミナルアダプタの設定項目の名称は、お使いの製造メーカー・機種によって異なります。

Q&A

本機をご使用中に起こる問題の解決方法を説明しています。何か問題が起こりましたら、関連する事項を見つけて、適切な処理を行ってください。

本機のセットアップ	本機がプリントをしない。	・本機の電源が入っていますか。 ・トナーカートリッジとドラムユニットは正しく取り付けられていますか。 ・プリンターケーブルがきちんと接続されていますか。 ・ディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか。(139ページ参照)
Windows®のセットアップ	使用しているアプリケーションからプリントできない。	Windows®対応プリンタードライバがインストールされており、お使いのアプリケーションの[印刷]ダイアログボックスの中で、正しいプリンタドライバを選択しているか確認してください。
	Windows®からプリントする際に、「プリントオーバーラン」というエラーが起こることがある。	ドライバの設定で解像度を下げて、もう一度プリントしてください。
用　　紙	本機が給紙をしない。	・「キロクシ　カクニン」もしくは「キロクシ ツマリ」メッセージがディスプレイに表示されていないかどうか、確認してください。表示されている場合、マルチパーパスシートフィーダーに用紙が入っていないか、もしくは用紙が正しく差し込まれていません。用紙が入っていないときは新しく用紙を入れてください。 ・マルチパーパスシートフィーダーに用紙がある場合、用紙がそっていないことを確認してください。用紙がカールしている場合は、用紙をできるだけまっすぐにしてください。また、一度用紙を取り出してから、揃え直して再びマルチパーパスシートフィーダーに戻すと正常に作動する場合もあります。 ・用紙枚数を減らしてみてください。
	手差しスロットから給紙できない。	用紙を正しく入れ直してください。手差しスロットには、必ず一度に1枚の用紙だけを置いてください。(122ページ参照)
	封筒の給紙方法が分からない。	封筒は、マルチパーパスシートフィーダー、または手差しスロットから給紙することができます。封筒へプリントする際は、PC上で、プリントに使用する封筒のサイズを正しく設定してください。封筒のサイズの設定は、お使いのアプリケーションの[ページ設定]メニューなどの中で行ってください。詳しくは、お使いのアプリケーションの取扱説明書をご参照ください。

用　　紙	どんな種類の用紙が使用できるのか分からない	普通紙、封筒、OHP用紙、ラベル、ルーズリーフ、バイブルサイズのシステム手帳用紙をご使用いただけます。詳しくは、116ページをご覧ください。
その他印刷	本機が不要なデータをプリントする。	・一度本機の電源を切って、数秒後に再び電源を入れるか、本機をリセットしてください。 ・お使いのアプリケーションの[プリンタの設定]が正しく設定されているかどうかご確認ください。
	1ページを完全にプリントすることができず、「オーバーラン　エラー」というエラーメッセージが表示される。	受け取ったデータが複雑すぎて、ページの一部を正しくプリントすることができませんでした。以下の方法で、この問題を解決することができます: ・排紙ボタンを押し、本機に残っているデータをプリントしてください。 ・プリントしたいページのデータを簡単にするか、解像度を低く設定し直してください。
	最初の数ページは正しくプリントされるが、その後のページでは文字がプリントされないことがある。	この問題は、パラレルインターフェイスセッティングに関係していると思われます。お使いのコンピュータが、「プリンタの入力バッファーが限界」という信号を認識していません。プリンターケーブルが正しくない(もしくはきちんと接続されていない、ケーブルが長すぎる)、またはご使用のコンピュータのパラレルインターフェイスが正しく設定されていないのが原因と思われます。
	1ページを完全にプリントすることができず、「メモリ ゲンカイ」というエラーメッセージが表示される。	・プリンターの解像度を下げてください。 ・プリントしたい書類の内容を簡単にしてください。 ・お使いのアプリケーションの中から、グラフィックスのクオリティーを下げたり、使用するフォントを小さくしてください。
	コンピュータ画面上にはヘッダーやフッダーが表示されているのに、プリントされない。	ほとんどのレーザープリンターには、プリント可能範囲があり、それを超えてプリントすることはできません。ほとんどの場合、用紙の上端および下端の2行はプリントできませんので、プリント可能範囲に合うようにヘッダー、またはフッダーの印刷位置を調整してください。
印刷クオリティー	印刷ページが暗すぎる、または明るすぎる。	取扱説明書〈セットアップ編〉46ページを参照して、印刷の濃さを変更してください。
	白い縦縞が入る。	柔らかい布でスキャナーウィンドウを拭いてください。(127ページ参照) スキャナーウィンドウをきれいにしても同じ問題が起こり、ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。

印刷クオリティー	トナーのしみや黒い縦縞が入る。	・本機内部とコロナワイヤを拭いてください。（126～128ページ参照）ください。 ・コロナワイヤのつまみが正しい位置にあるかどうか確認してください。(128ページ参照) それでも同じ問題が起こり、ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	テキストやグラフィックに白い中抜けがある。	用紙が本機の仕様に合ったものか確認してください。表面がざらざらしている用紙、極端に厚い用紙を使用すると、この問題の原因になります。 それでも同じ問題が起こり、ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	トナーが飛んだりして、プリントされたページが汚れている。	本機の内部の掃除をしてください。(127ページ参照) 本機に合った用紙を使用しているか確認してください。 それでも同じ問題が起こり、ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	印刷時にページ全体が真っ黒になった。	金属接点を拭いてください(127ページ参照) 熱に弱い用紙を使用すると、このようなことが起こることがあります。 ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	何も印刷されない。	・トナーカートリッジのトナーがなくなっていないかどうか確認してください。 ・金属接点を拭いてください。(127ページ参照) ・スキャナーウィンドウに用紙の切れ端が残っていないかどうか確認してください。
	印刷ページに繰り返し汚れが出る。	この問題は自然に解消されていくこともあります。特に、本機を長期間使用していない場合、複数のページをプリントするとこの問題はなくなります。 もう一つの理由として、ドラムユニットの表面に傷がついていることが考えられます。この場合、ドラムユニットを交換する必要があります。 複数のページをプリントしてもこの問題が解決されない場合、ドラムに傷があるか、光にさらされてダメージを受けています。新しいドラムユニットに交換してください。

印刷クオリティー	プリントページの中央や端がかすんでしまう。	湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、こういった問題が起こることがあります。 ・本機が平らで、平行な場所に置かれているかどうか確認してください。 ・ドラムユニットを取り出し、トナーカートリッジを入れたまま、左右に数回振ってみてください。 ・スキャナーウィンドウを柔らかい布で拭いてください(154ページの<ドラムユニットの清掃>参照)。それでも同じ問題が起こり、ディスプレイに「ドラム コウカン ジキデス」と表示された場合は、ドラムユニットを交換してください。
	残像が印刷されてしまう。	・取扱説明書〈セットアップ編〉44ページを参照して、印刷の濃さを薄くしてください。 ・用紙が本機の仕様に合ったものか確認してください。表面がざらざらの用紙や、極端に厚い用紙を使用すると、こういった問題が起こることがあります。

注意：「ドラム コウカン ジキデス」とディスプレイに表示されている場合は、ドラムユニットの寿命です。ドラムユニットを新しいものに交換すれば、印刷クオリティーの問題は解決されます。また、ドラムユニットは消耗品ですので、定期的に交換してください。

規格

国際エネルギープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的としています。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI規格

この装置は、情報装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）に従った米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラスⅠレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告	（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明のおそれがあります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

主な仕様

＜ファクシミリ＞

互換性	ITU-T　グループ3(G3)
変調方式	MH/MR/MMR
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400bps (自動フォールバック付き)
原稿サイズ幅	最大：216mm、最小：148mm
有効読取幅	208mm
記録紙サイズ	A4（幅210mm×長さ297mm）
電送時間	約6秒[*1]
中間調伝送	64階調
走査方式	CISによる平面走査
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：3.85本（標準） 7.7本（ファイン/写真） 15.4本（S.ファイン/写真）
適用回線	一般電話回線、2線式専用回線

＜プリンター＞

対応パソコン	DOS/V機
対応OS	Windows®95/98/NT 4.0
インターフェイス	IEEE1284準拠パラレルインターフェイス
プリンターメモリ	1MB
プリント方式	半導体レーザー+乾式電子写真方式
プリント解像度	600dpi
プリント品質	普通モード/トナーセーブモード
プリント速度	6枚/分（A4サイズ）
プリント可能枚数	トナー[*2]：約2,200枚（市販品） 約800枚（付属品） ＜A4サイズの用紙に印刷密度5%でプリントしたとき＞ ドラムユニット[*3]：約20,000枚（1度に20枚連続印刷したとき） 約8,000枚（1度に1枚印刷したとき）

＜電源と使用環境＞

使用環境	温度：10～32.5℃、湿度：20～80％（結露なきこと）
電源	AC100V±10V　50/60㎐
消費電力*4	ピーク時：450W以下 待機時：8W以下 コピー時：160W以下 送信時：20W以下 受信時：90W以下
稼働音	待機時：39dBA以下 動作時：50dBA以下
外形寸法	456(横幅)×334(奥行き)×250(高さ)mm (突起部を除く)
質量	約8.5kg

※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

*1　A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本/mm）、高速モードで送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間です。通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の電送時間は原稿の内容および回線状況により異なります。

*2　トナーカートリッジの寿命は印刷内容により異なります。

*3　ドラムユニットの寿命は使用環境や記録紙の種類、連続印字枚数等により異なります。

*4　送信、受信、コピー動作の消費電力はA4判700字程度の原稿（独自）を使用して測定しています。

＜キリトリ線＞

リモコン　アクセス

リモコンアクセスコード

〇〇〇

あなたのリモコンアクセスコードを記入してください。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクシミリが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3.「ポー」という音が聞こえたら、メッセージを受信していることを示します。
　ポー：ファクスメッセージを受信しています。
「ポー」という音が聞こえなければ、メッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、3、4を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう１度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
電話呼び出し、ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952（※5）
	電話呼び出し	953（※5）
ファクス転送番号の登録・変更		954
メモリ受信の設定	ON	956
	OFF	957
ファクスの取り出し	メモリ使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971

操作内容		ボタン操作
受信モードの変更	外付留守電	981
	通常	982
	ファクス専用	983
終了		90

※1：リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。
※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※3：「ピーピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※4：中止するときは 9 を入力してください。
※5：呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

FAX消耗品等のご注文について

●弊社ダイレクトClubへご注文される場合は、お客様宅へ直送させていただきますので、下記注文書に必要事項をご記入の上、FAXにてご注文ください。
●ご注文いただきました部品は、2～3日後に「代金引換え宅配便」にて発送させていただきます。
なお、代金は商品到着時に〈現金にて〉お支払い願います。(送料・手数料は無料)
●ご注文数量は、下記注文書所定の単位にてお願い申しあげます。
※必要な場合は、おそれいりますがコピーをとってお使いください。

《ご注文先》

ブラザー販売株式会社　情報機器事業部　ダイレクトClub
FAX番号（052）825-0311

<キリトリ線>

ブラザー販売（株）
情報機器事業部　ダイレクトClub　行

FAX部品注文書

《お届け先》

お届け先ご住所

お名前　　TEL　　FAX

品　名	機種コード	単　価	ご注文数	金　額
TN-200 (MFC 4350J用トナー)	5X7-102-001-47	6,600円 (消費税別)		
DR-200 (MFC 4350J用ドラム)	5X7-101-001-47	19,500円 (消費税別)		
			消費税	
			合　計	

・領収書（必要、不要）

〈キリトリ線〉

アフターサービスのご案内

　この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。
その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様総合お問い合わせ窓口】

フリーダイヤル　ＴＥＬ：0120ー143410

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトClub

〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15ー1
ＴＥＬ：(052) 824ー3410
ＦＡＸ：(052) 825ー0311

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトClubにて対応させていただきます。
・尚、ご注文の際は、前ページの注文書にてＦＡＸでご注文願います。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

UU7560001
Printed in Japan